

木材需給動向について (全国)

2025年 2 月

林 野 庁

目次

1 価格の動向

(1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ ヒノキ（全国）

(2) 製品価格

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材（全国）

(2) 合板（全国）

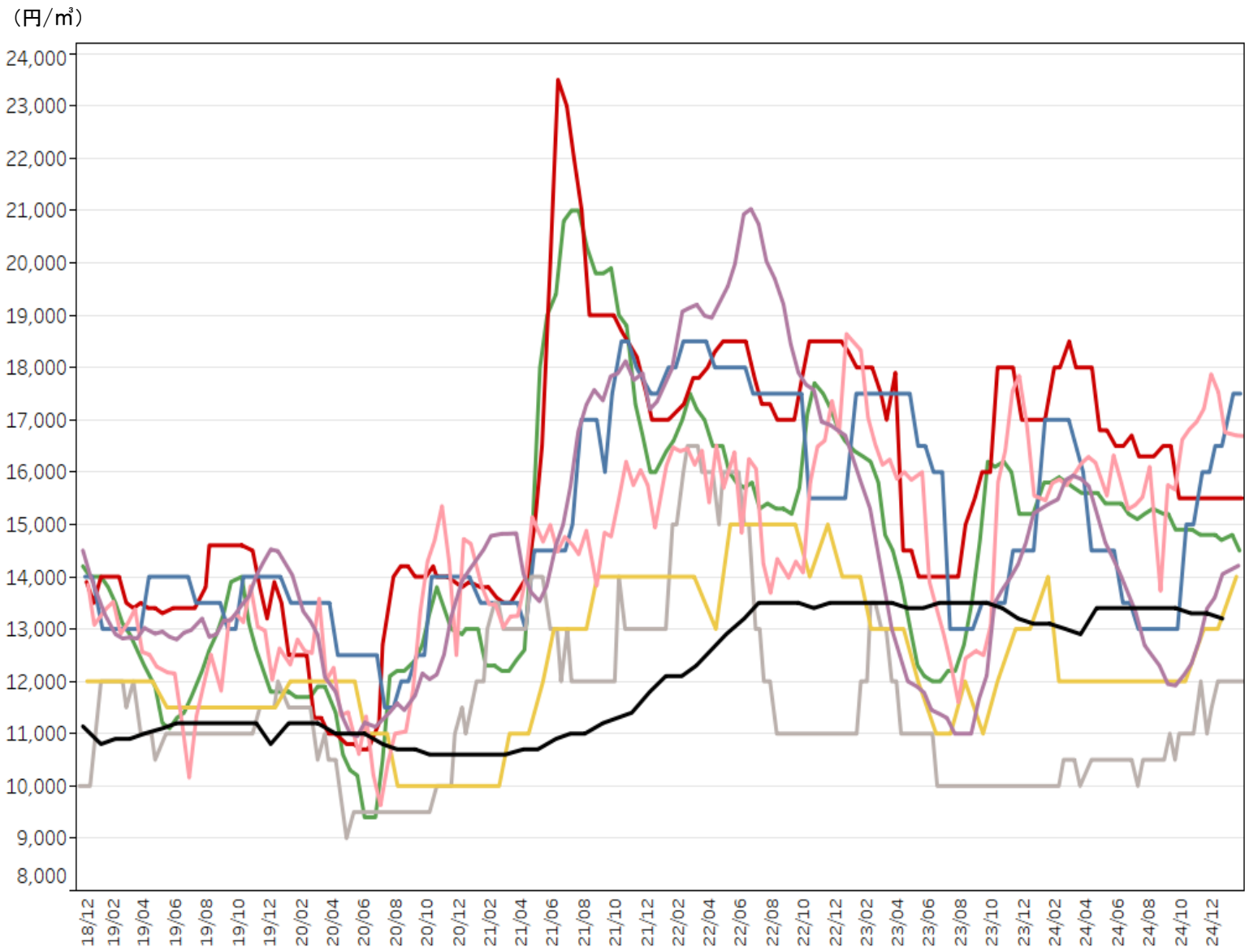
(3) チップ（全国）

3 住宅着工戸数の動向

4 木材輸出量

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)
ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

• 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円~17,500円/㎡となっている。



注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

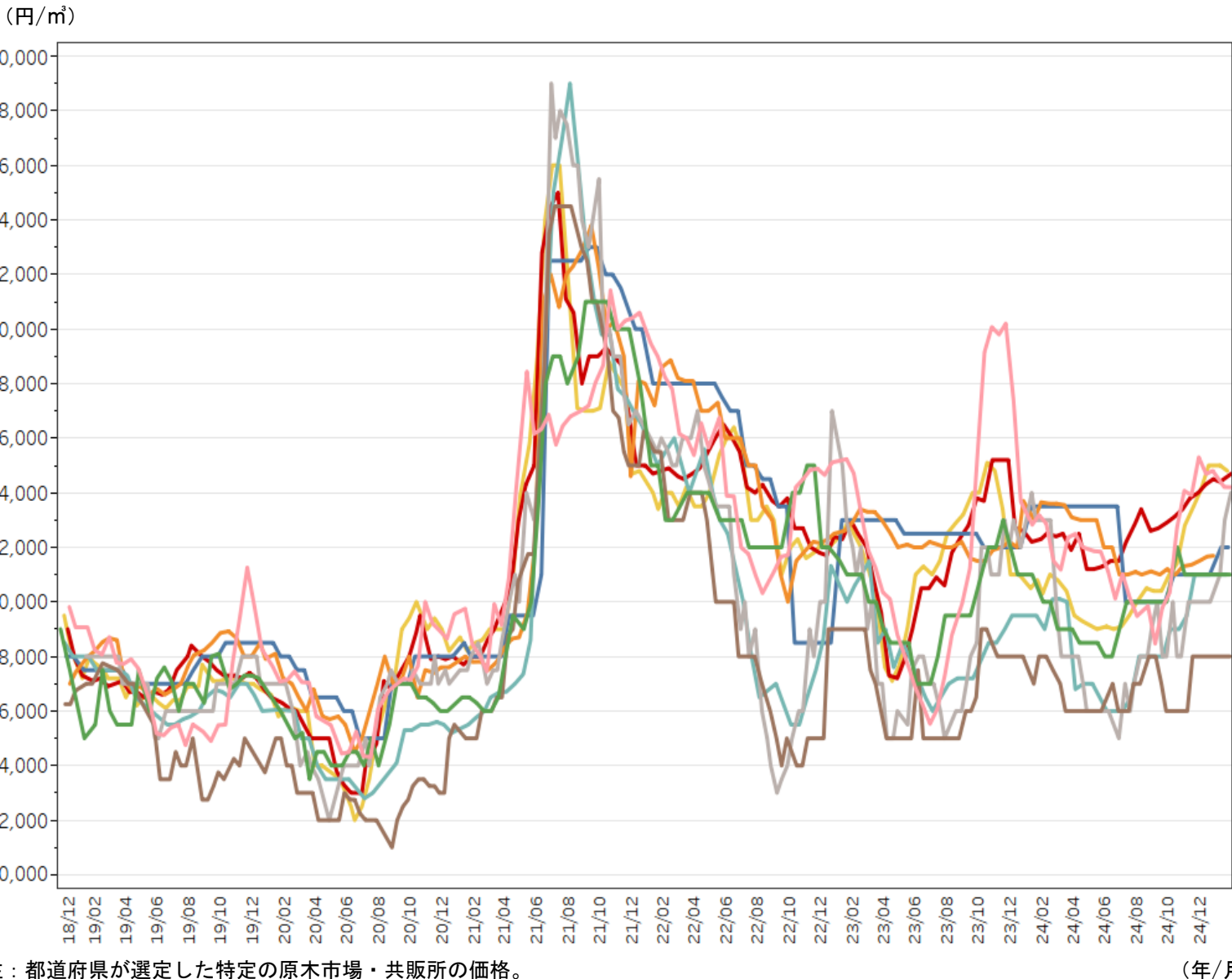
(単位：円/㎡)

都道府県	2024年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,200	13,100	101%
秋田県	14,210	15,390	92%
栃木県	16,690	15,790	106%
長野県	14,000	14,000	100%
岡山県	12,000	10,000	120%
高知県	17,500	17,000	103%
熊本県	15,500	18,000	86%
宮崎県	14,500	15,800	92%

※北海道については12月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については1月の値を使用。

イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、18,000円～24,800円/㎡となっている。



(単位：円/㎡)

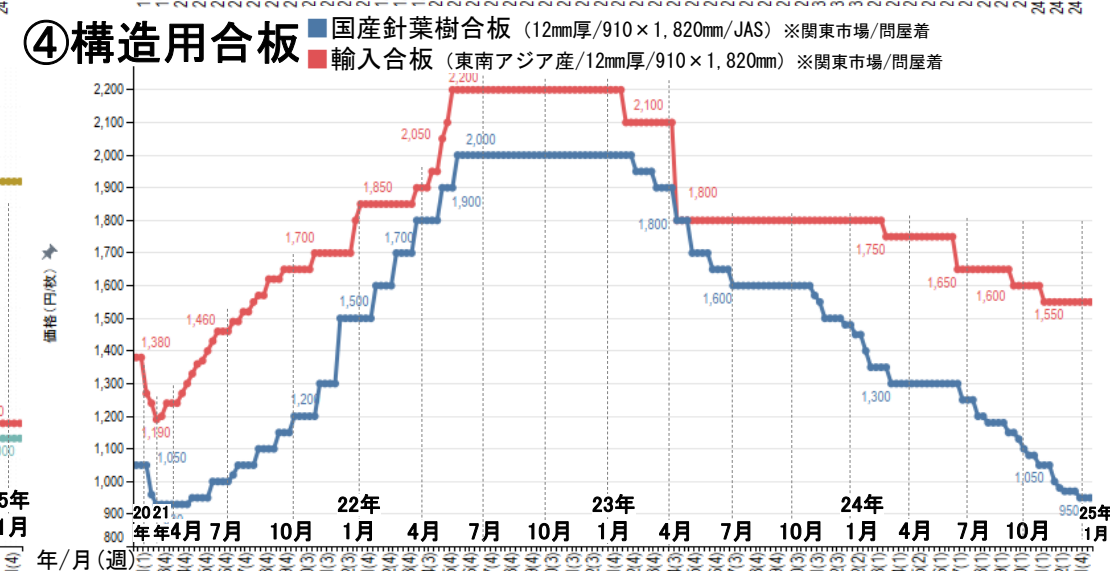
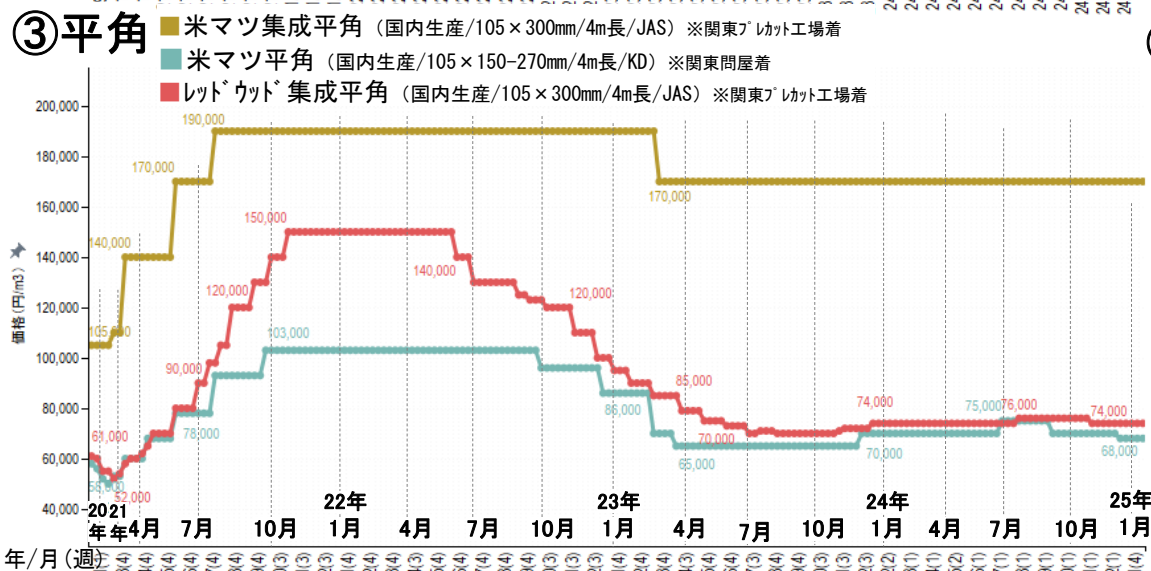
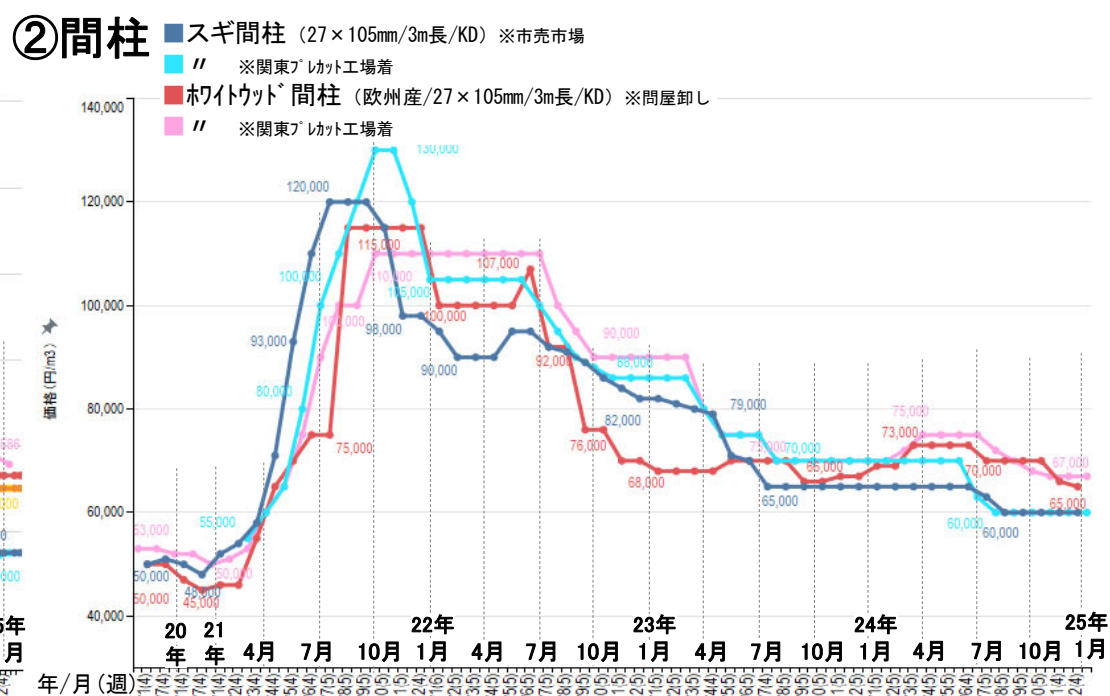
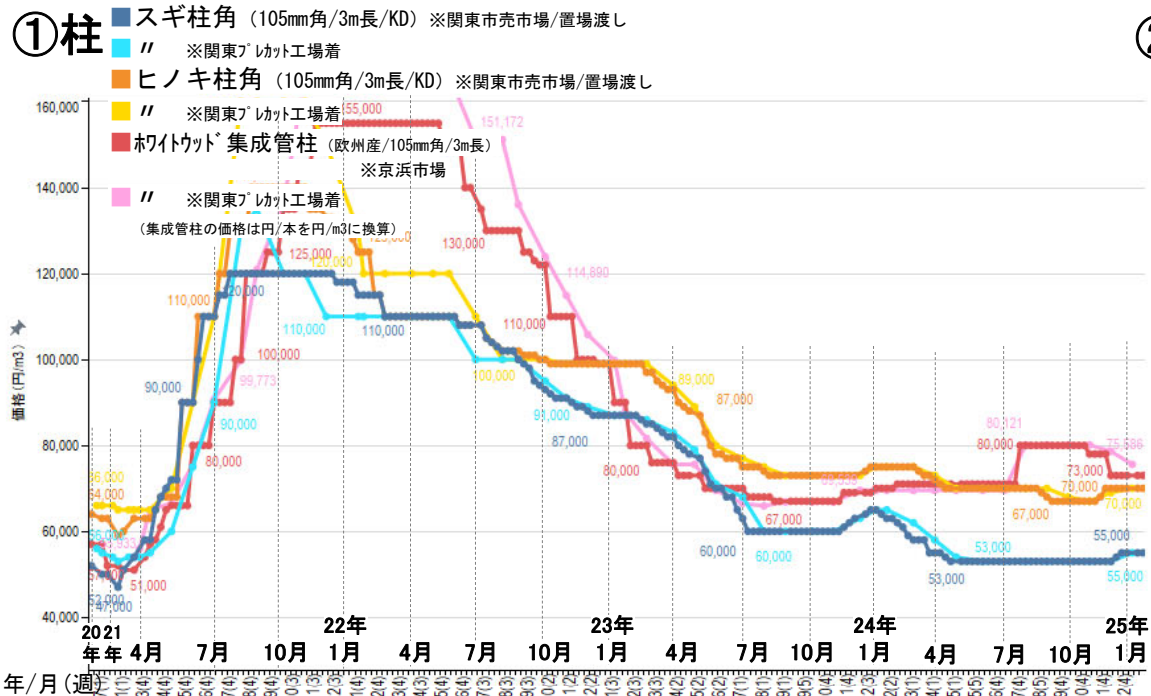
都道府県	2024年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	24,200	23,180	104%
静岡県	21,000	21,000	100%
兵庫県	18,000	18,000	100%
岡山県	24,000	23,000	104%
広島県	21,000	19,500	108%
愛媛県	21,690	23,700	92%
高知県	22,000	23,500	94%
熊本県	24,700	22,300	111%
大分県	24,800	20,800	119%

※愛媛県については12月、栃木県、静岡県、兵庫県、岡山県、広島県、高知県、熊本県及び大分県については1月の値を使用。

注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

(2) 製品価格

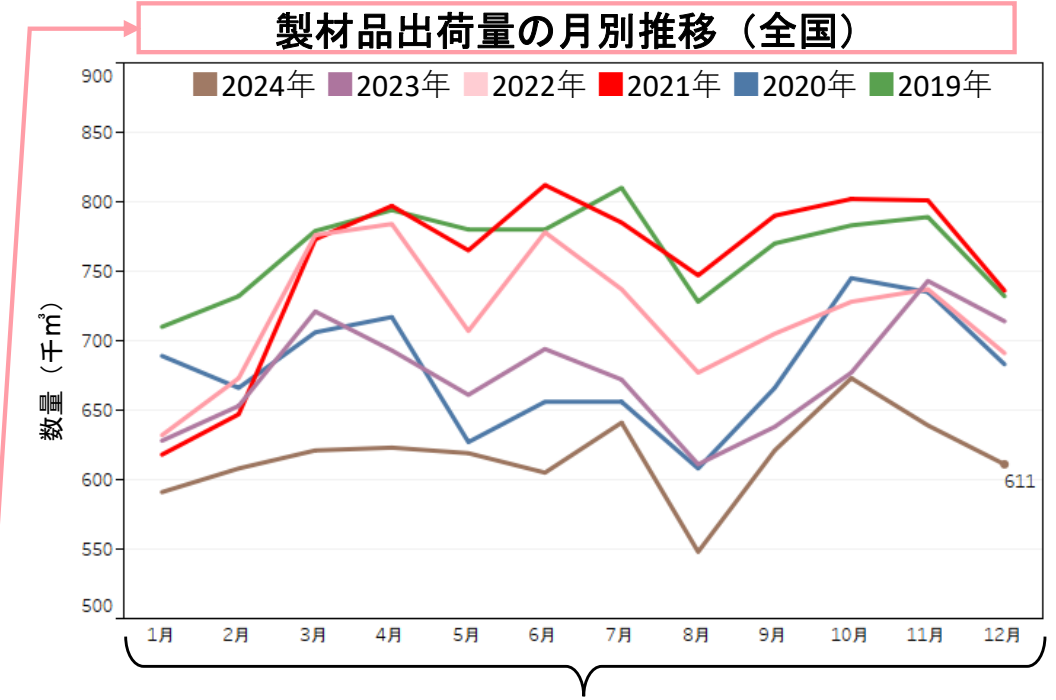
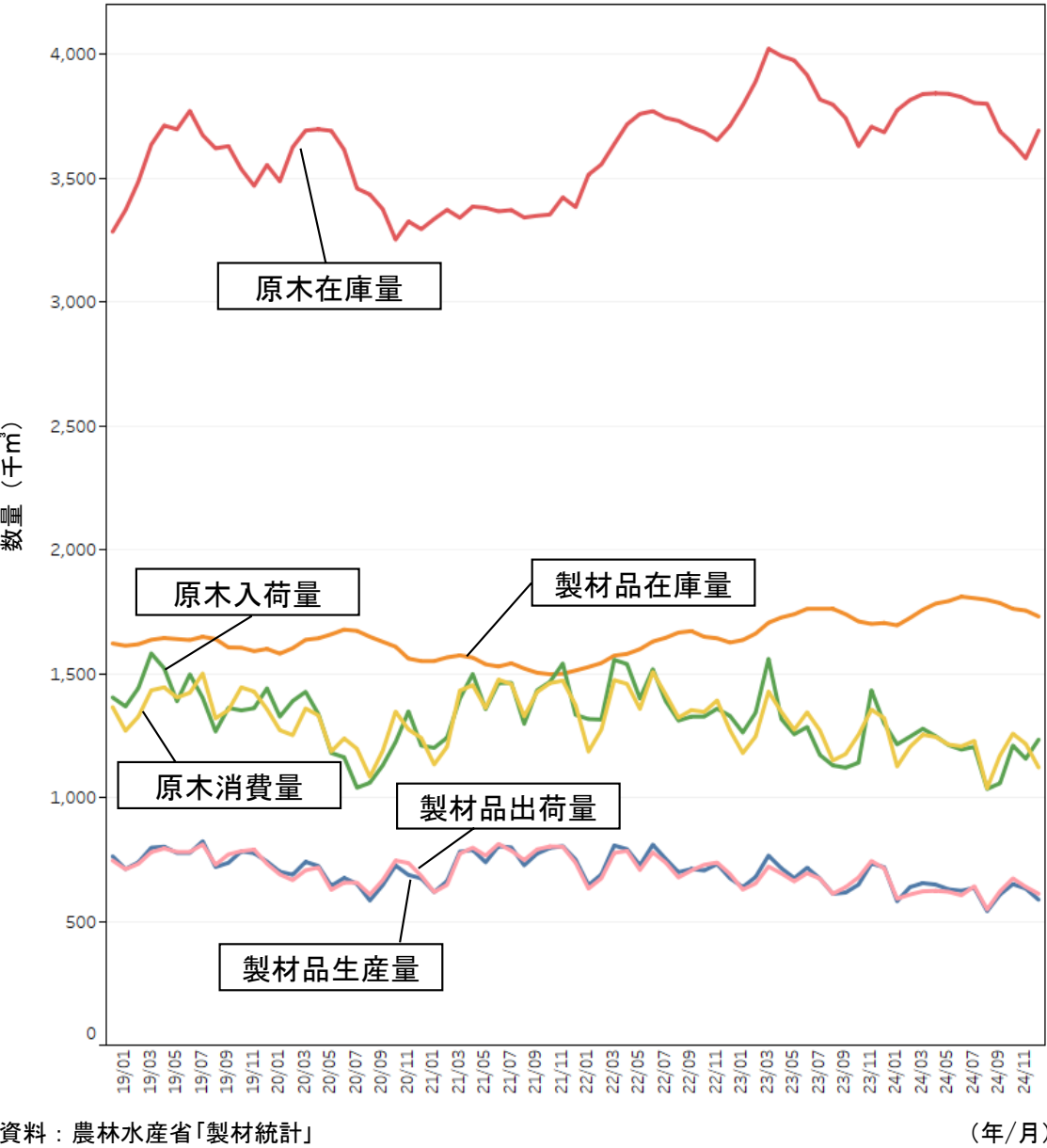
- 令和3(2021)年は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。
令和4(2022)年以降、柱、間柱、平角の価格は長期的に下落傾向であったが、令和5年夏頃より概ね横ばいで推移。
構造用合板の価格は、令和5(2023)年以降、下落傾向。国産材の柱の価格は、令和6(2024)年に入ってから下落後に横ばいで推移。



2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材 (全国)

- 2024年1～12月の原木の入荷量は14,280千 m^3 (2019年比84%)。
- 同様に製材品の出荷量は7,400千 m^3 (2019年比81%)。

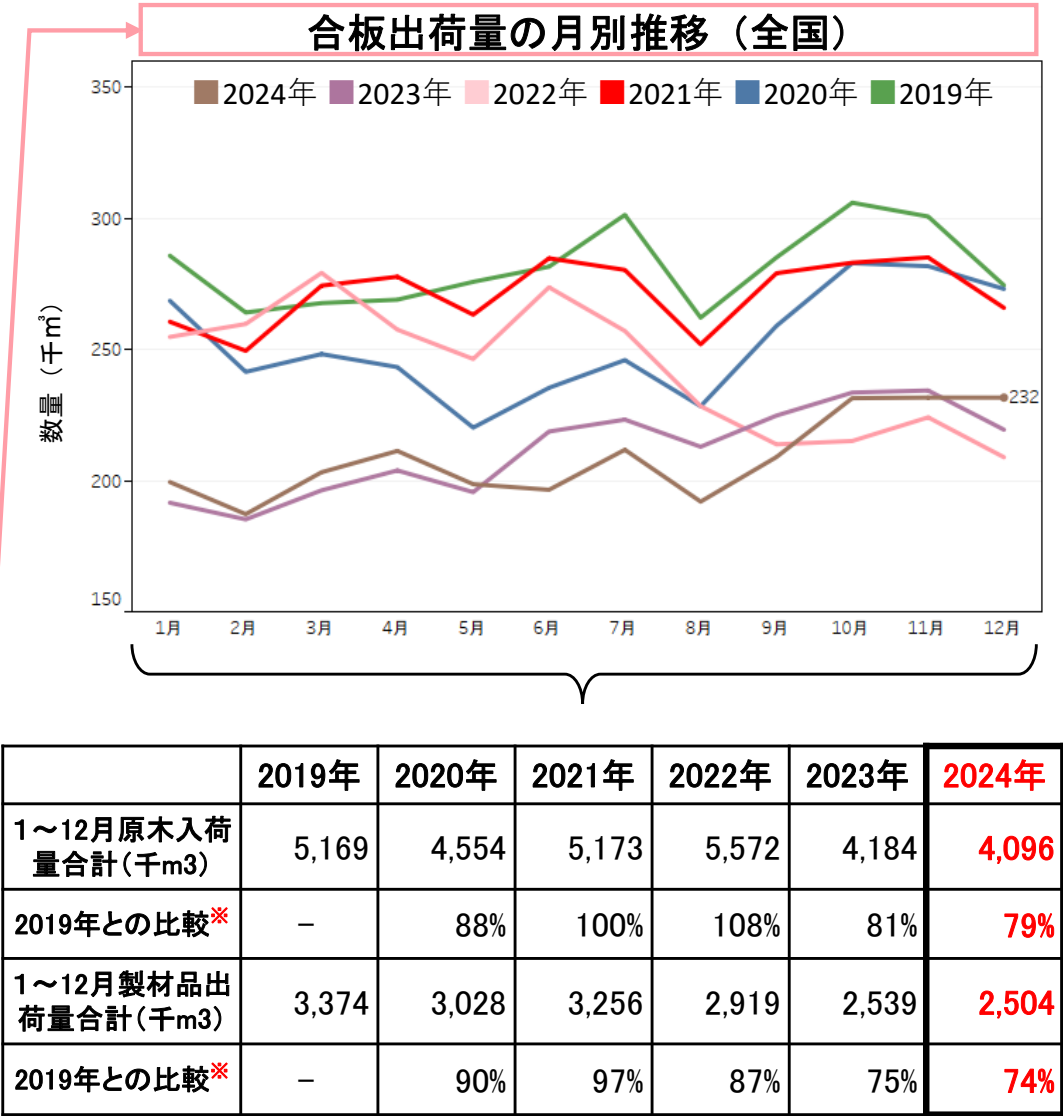
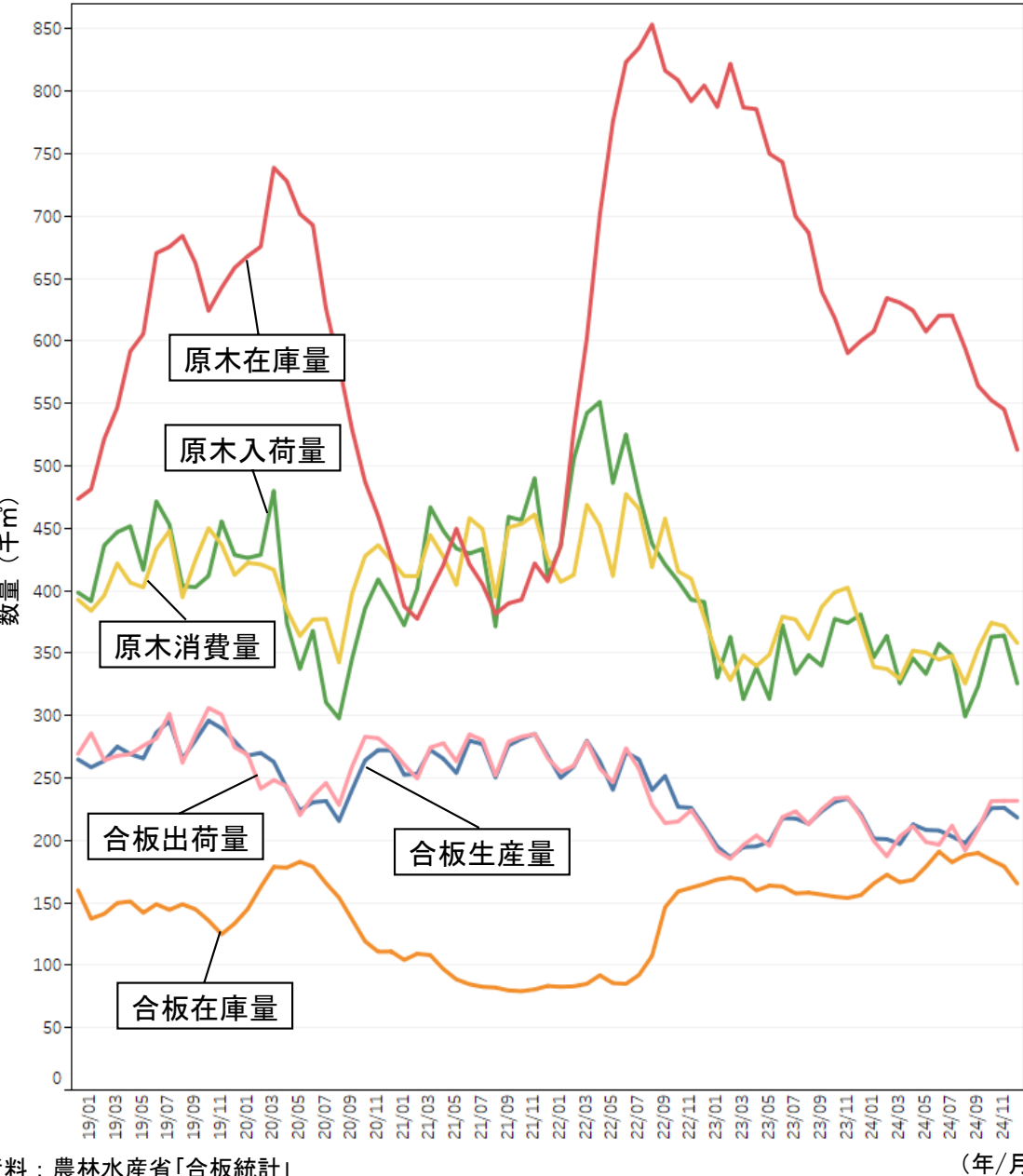


	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1～12月原木入荷量合計(千 m^3)	16,974	14,824	16,685	16,677	15,308	14,280
2019年との比較※	—	87%	98%	98%	90%	84%
1～12月製材品出荷量合計(千 m^3)	9,187	8,154	9,073	8,625	8,105	7,400
2019年との比較※	—	89%	99%	94%	88%	81%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(2) 合板（全国）

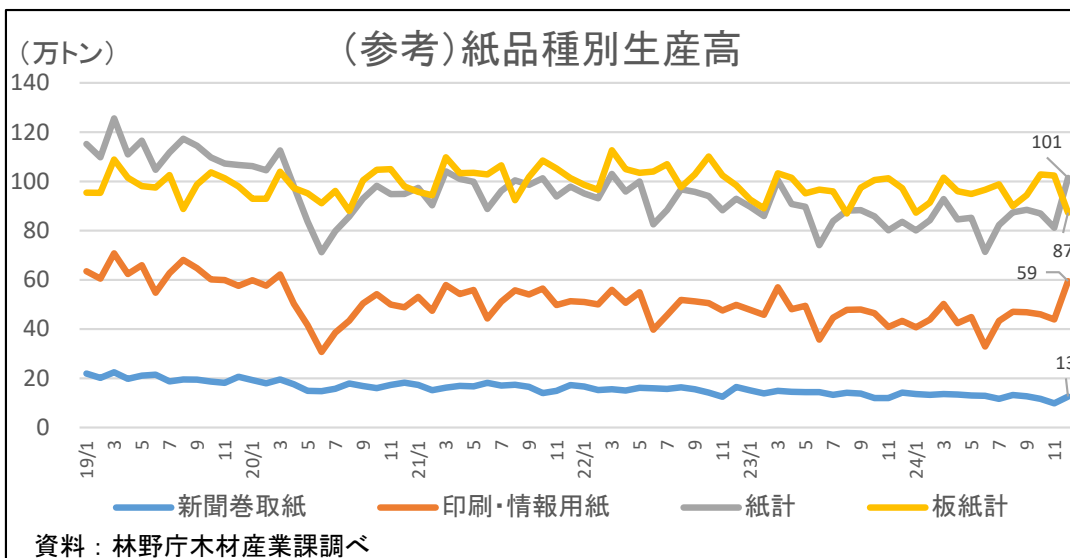
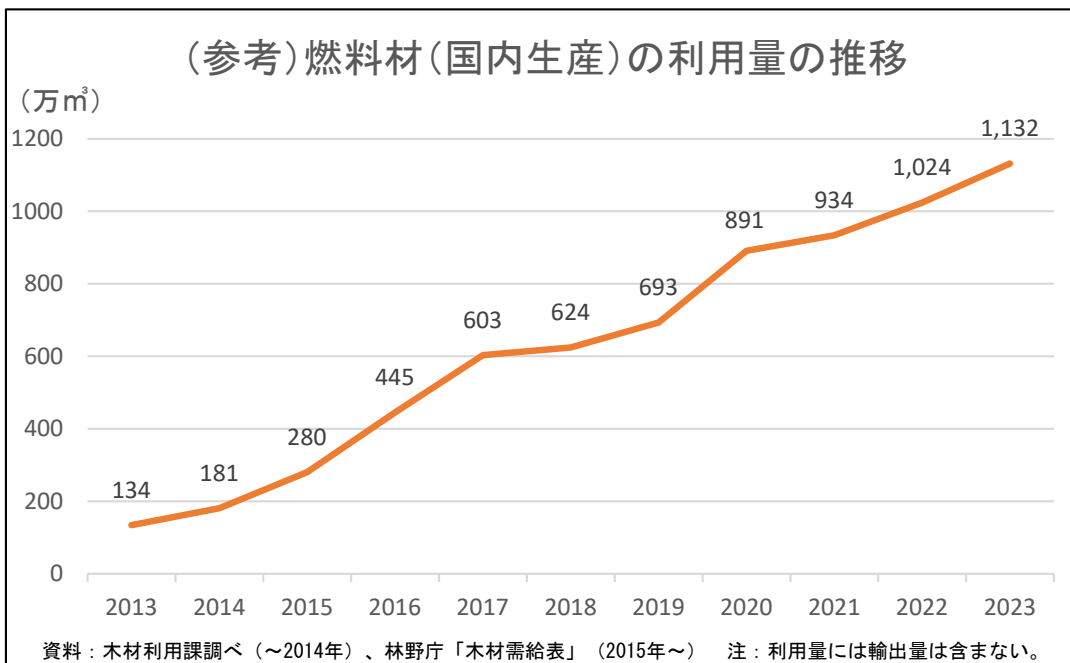
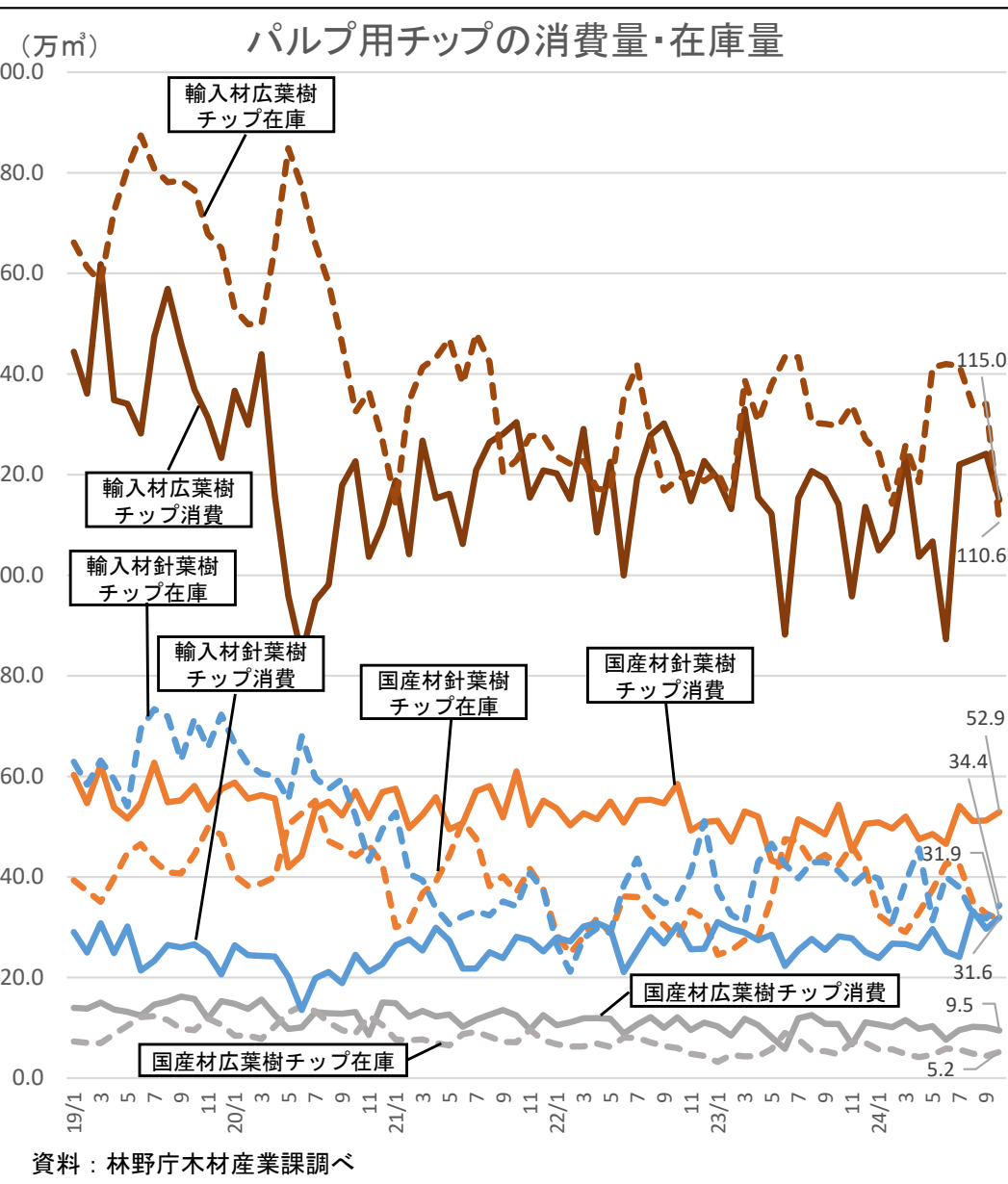
- 2024年 1～12月の原木の入荷量は4,096千m³（2019年比79%）。
- 同様に合板の出荷量は2,504千m³（2019年比74%）。



※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(3) チップ（全国）

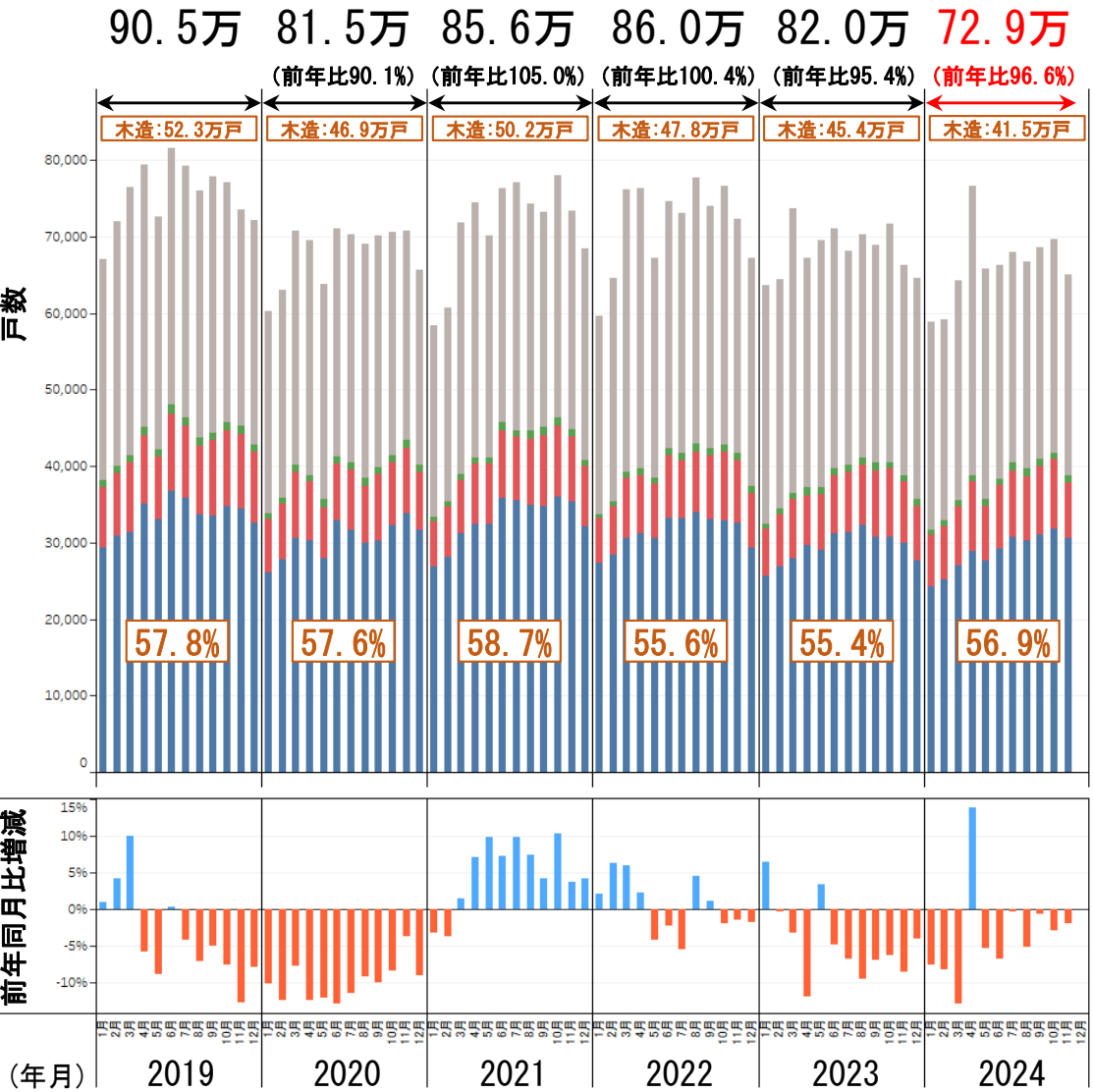
- パルプ用チップの消費について、2024年10月の輸入材広葉樹チップの消費量は115.0万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は52.9万 m^3 となっている。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約8倍）。



3 住宅着工戸数の動向（2019年1月～2024年11月）

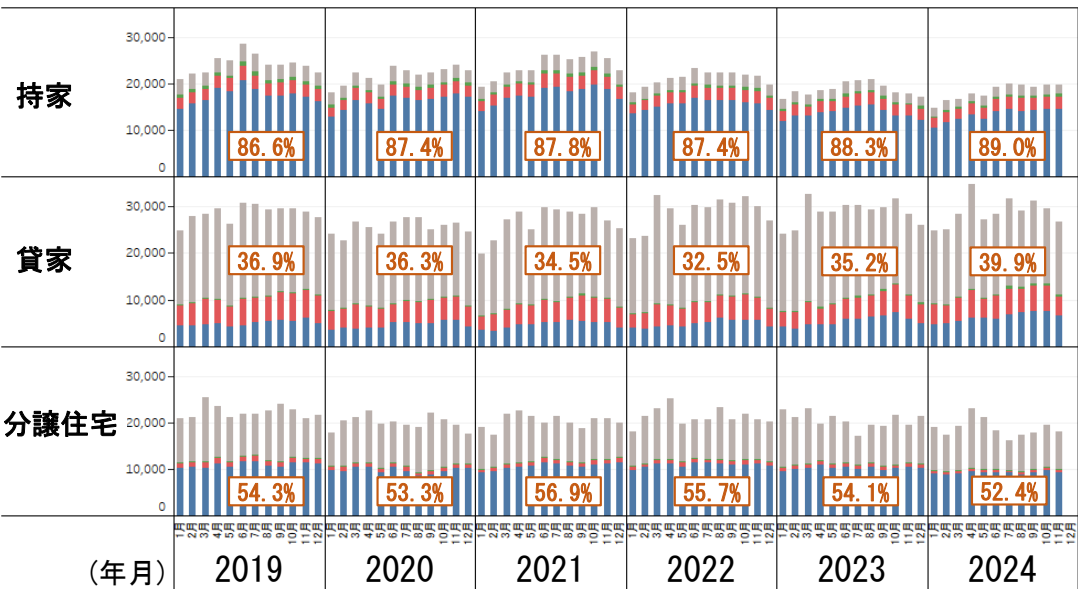
- 2023年の新設住宅着工戸数は、82.0万戸（前年比95.4%）、このうち木造住宅は45.4万戸（同95.1%）となり、2022年の水準を下回った。
- 2024年1～11月の新設住宅着工戸数は、72.9万戸（前年同期比96.6%）、このうち木造住宅は41.5万戸（同99.1%）。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2024年 1～11月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	729,113	755,037	96.6%	792,280	92.0%
■非木造	314,329	336,340	93.5%	351,775	89.4%
木造	414,784	418,697	99.1%	440,505	94.2%
■木造プレハブ	9,872	9,432	104.7%	9,309	106.0%
■2×4	87,909	83,642	105.1%	84,111	104.5%
■在来軸組	317,003	325,623	97.4%	347,085	91.3%
□木造率	56.9%	55.5%		55.6%	

（参考）利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）

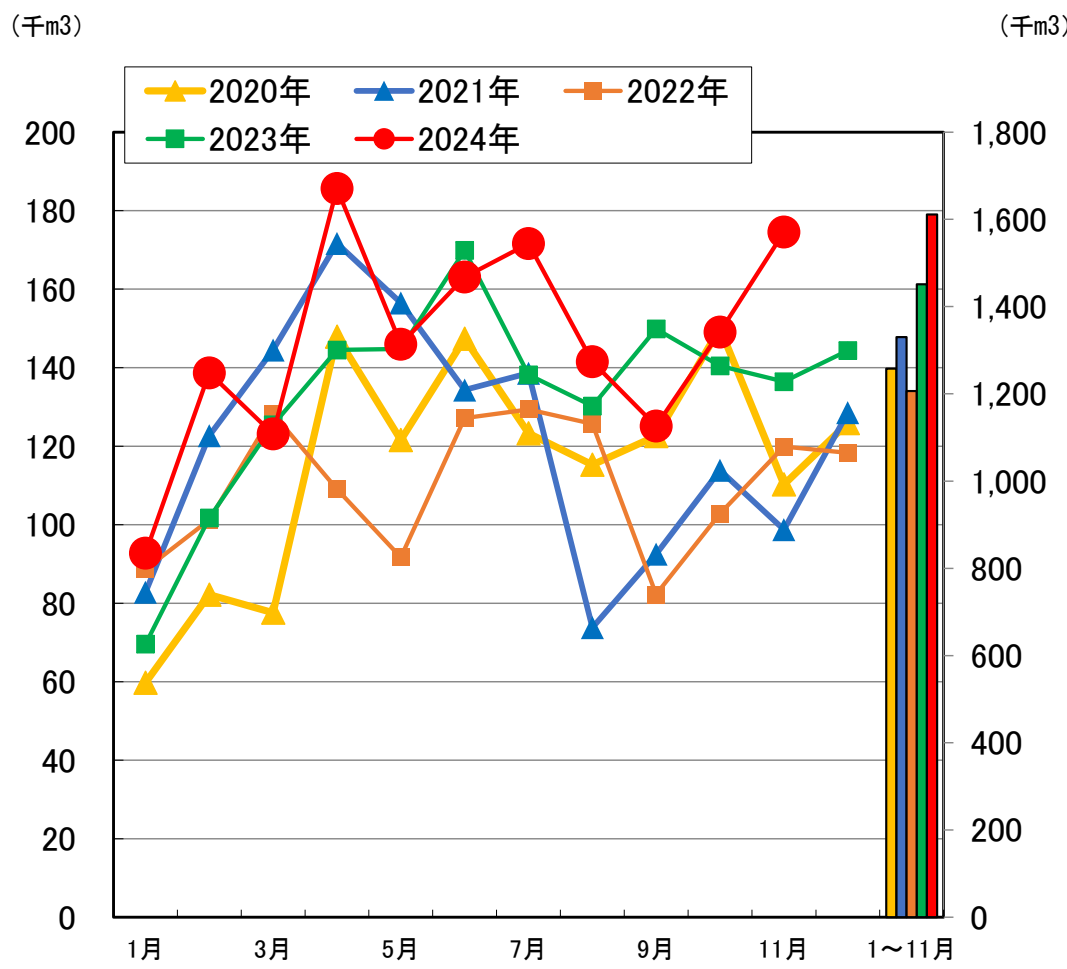


資料：国土交通省「住宅着工統計」

4 木材輸出量

・ 2024年 1～11月の木材輸出量は、丸太1,611千m³（前年同期比111%）、製材138千m³（前年同期比112%）、合板97千m³（前年同期比92%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



資料：財務省易統計
※貿易統計の第4403, 4407, 4412の一部類を集計
※四捨五入により、数値が合わないことがある

○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

輸出先	11月 単月			1～11月累計		
	主要品目内訳(千m3) 前年比(%)			主要品目内訳(千m3) 前年比(%)		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	160 130%	6 100%	0 146%	1,447 112%	59 114%	4 144%
韓国	10 135%	1 115%	0 48%	101 115%	8 109%	0 54%
台湾	4 83%	3 264%	0 45%	60 89%	16 98%	0 42%
米国	0 —	2 101%	0 122%	0 —	37 129%	0 73%
フィリピン	0 —	1 67%	11 122%	0 —	15 96%	92 91%
その他	0 56%	0 25%	0 0%	4 —	4 26%	0 118%
総計	175 128%	13 108%	12 122%	1,611 111%	138 112%	97 92%

○税関ごとの丸太輸出量

税関名	管轄※	合計(千m ³) 1～11月	比率 1～11月
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	261.0	16.2%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	51.8	3.2%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	41.3	2.6%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	23.2	1.4%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	34.4	2.1%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	14.6	0.9%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	427.7	26.5%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	757.0	47.0%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%

※木材の集荷範囲とは対応していない

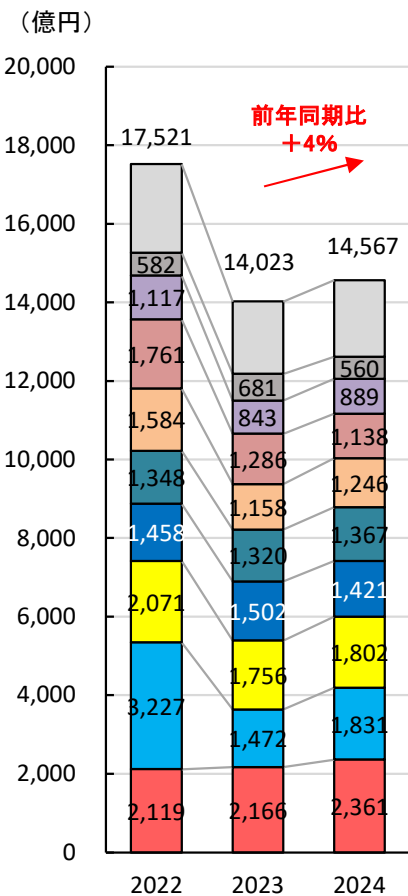
木材輸入の状況について

(2024年12月実績)

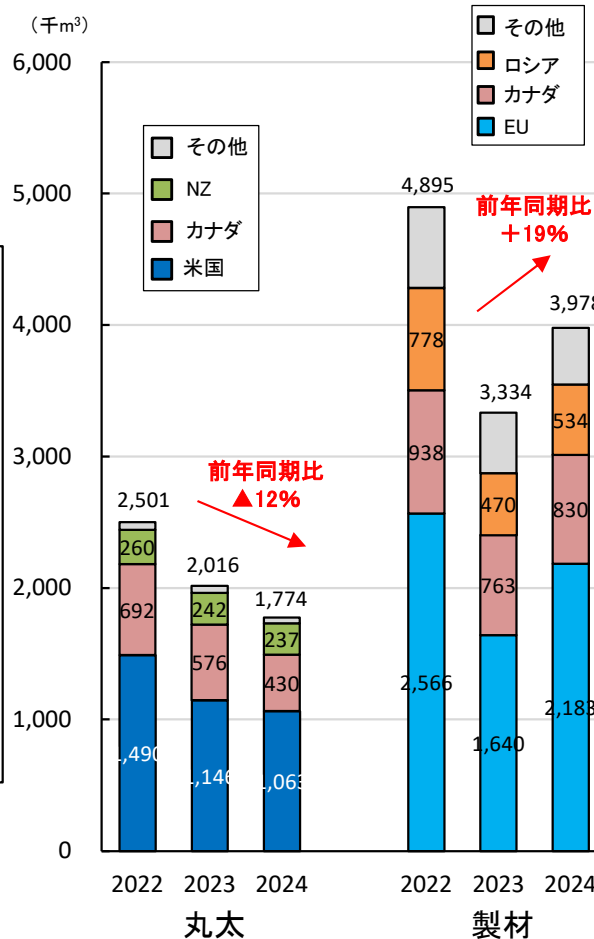
令和7年1月
林野庁 木材貿易対策室

1. 2024年12月の木材輸入実績(累計)

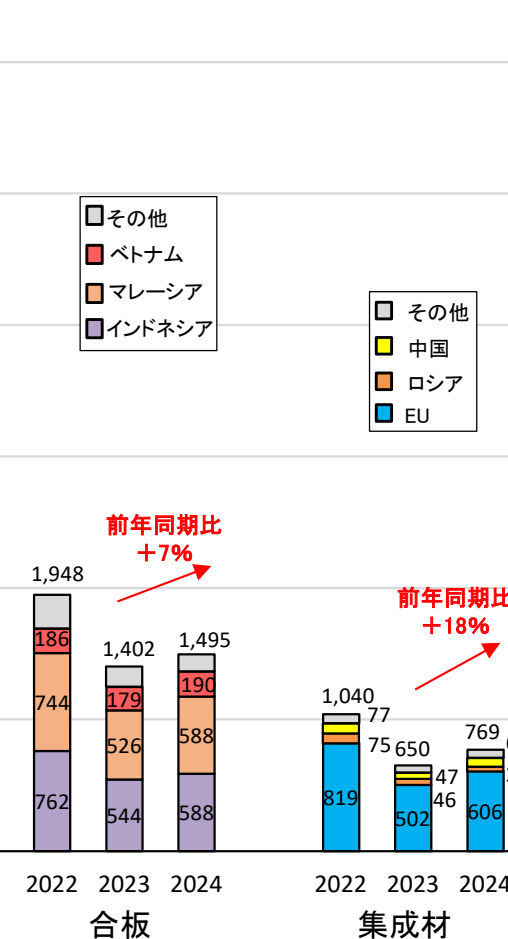
- 2024年1～12月の木材輸入額累計は、前年同期比+4%増の14,567億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比▲12%減、製材が同+19%増、合板が同+7%増、集成材が同+18%増、木質ペレットが同+10%増となった。
- なお、2022年同期と比較すると、2024年1～12月の木材輸入額累計は▲17%減。品目別輸入量では、丸太が▲29%減、製材が▲19%減、合板が▲23%減、集成材が▲26%減、木質ペレットが+45%増。



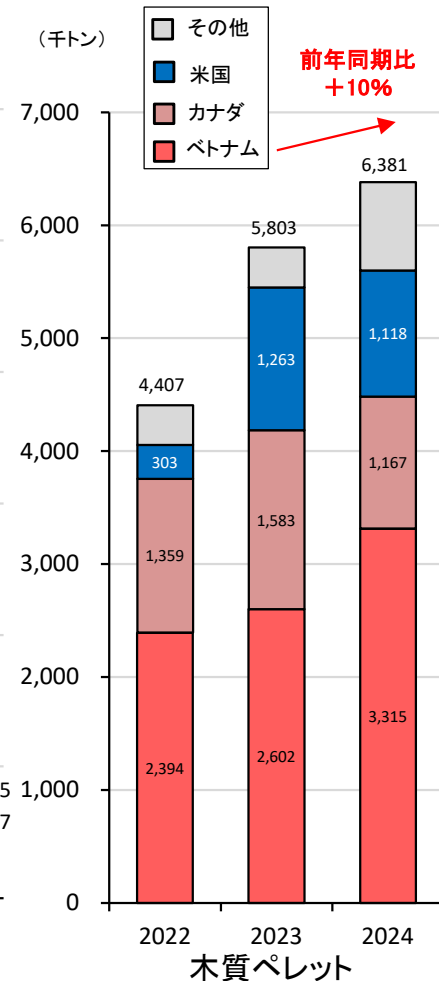
木材輸入額の推移
(2022～2024年における1月～12月累計)



丸太 製材



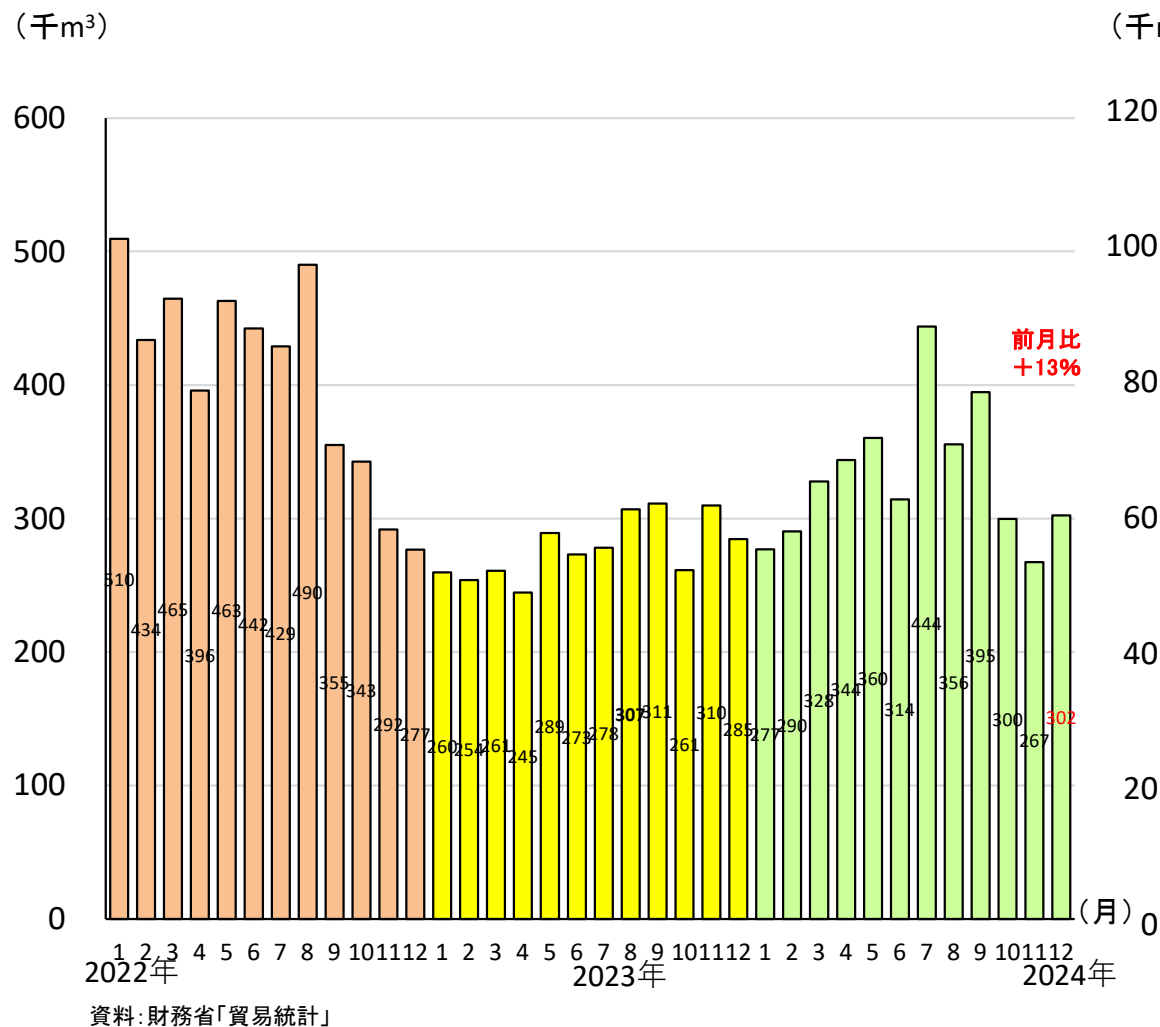
品目別木材輸入量の推移
(2022～2024年における1月～12月累計)



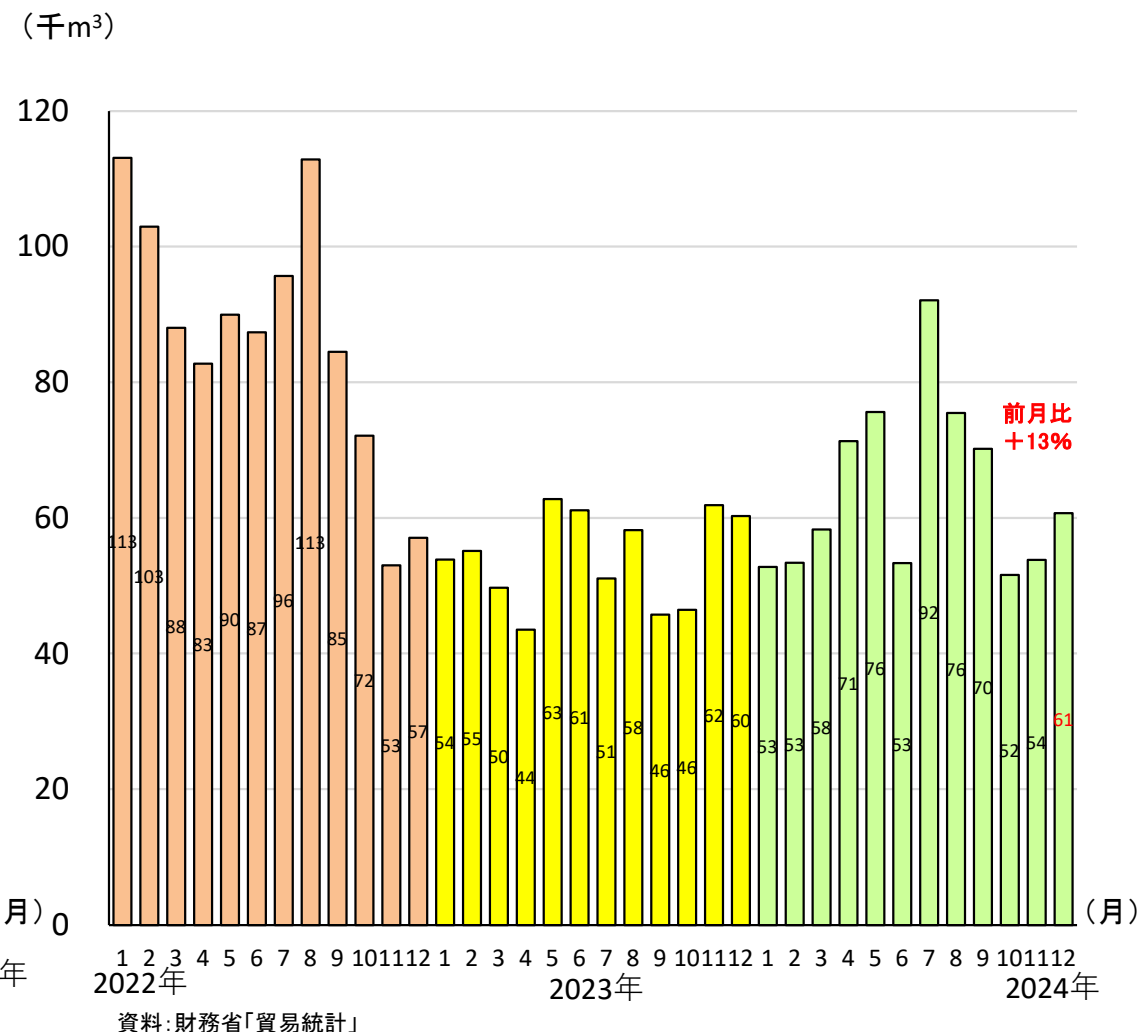
木質ペレット

2. 製材・集成材の月別輸入量

- 2024年12月の製材輸入量は、前月比+13%増の30.2万m³(前年同月比+6%増)。
- 同月の集成材輸入量は、前月比+13%増の6.1万m³(前年同月比+1%増)。



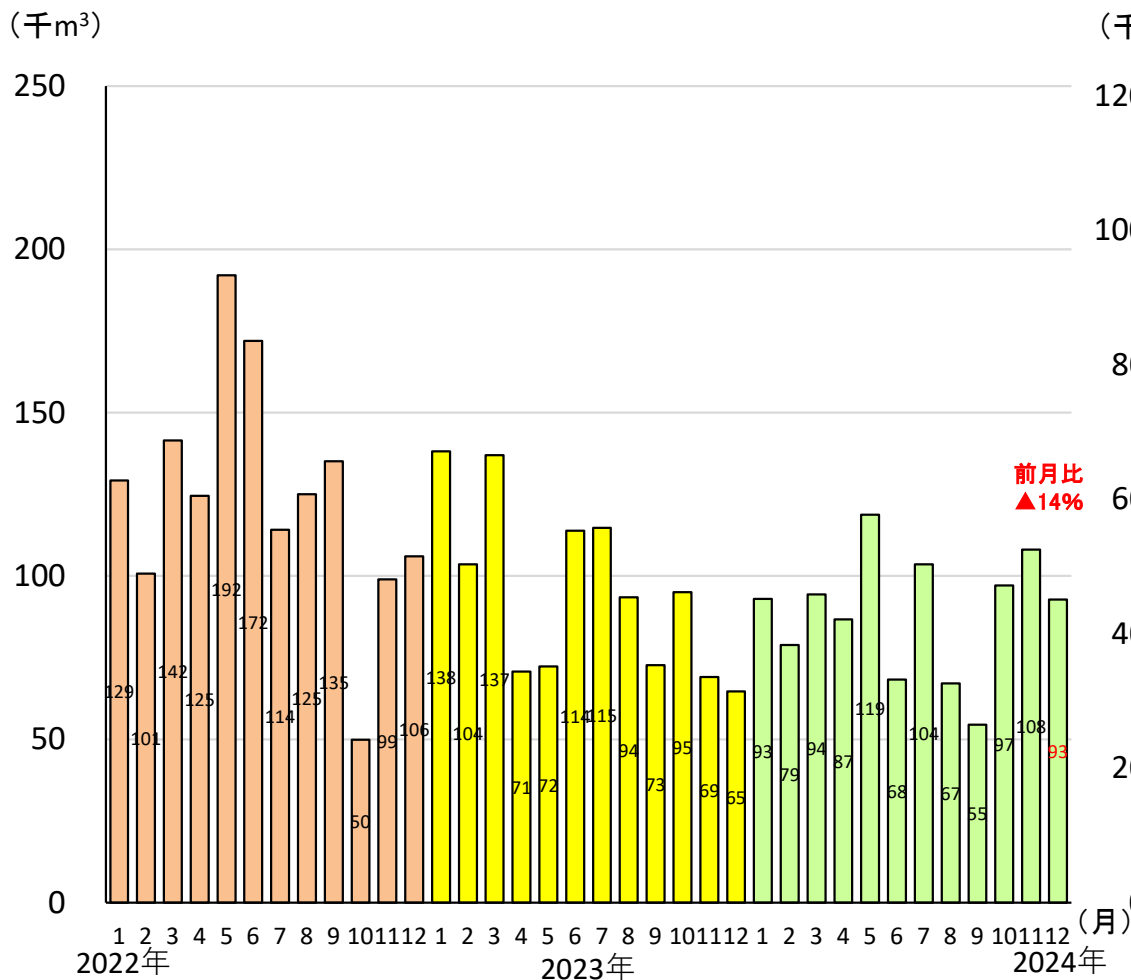
製材の輸入量



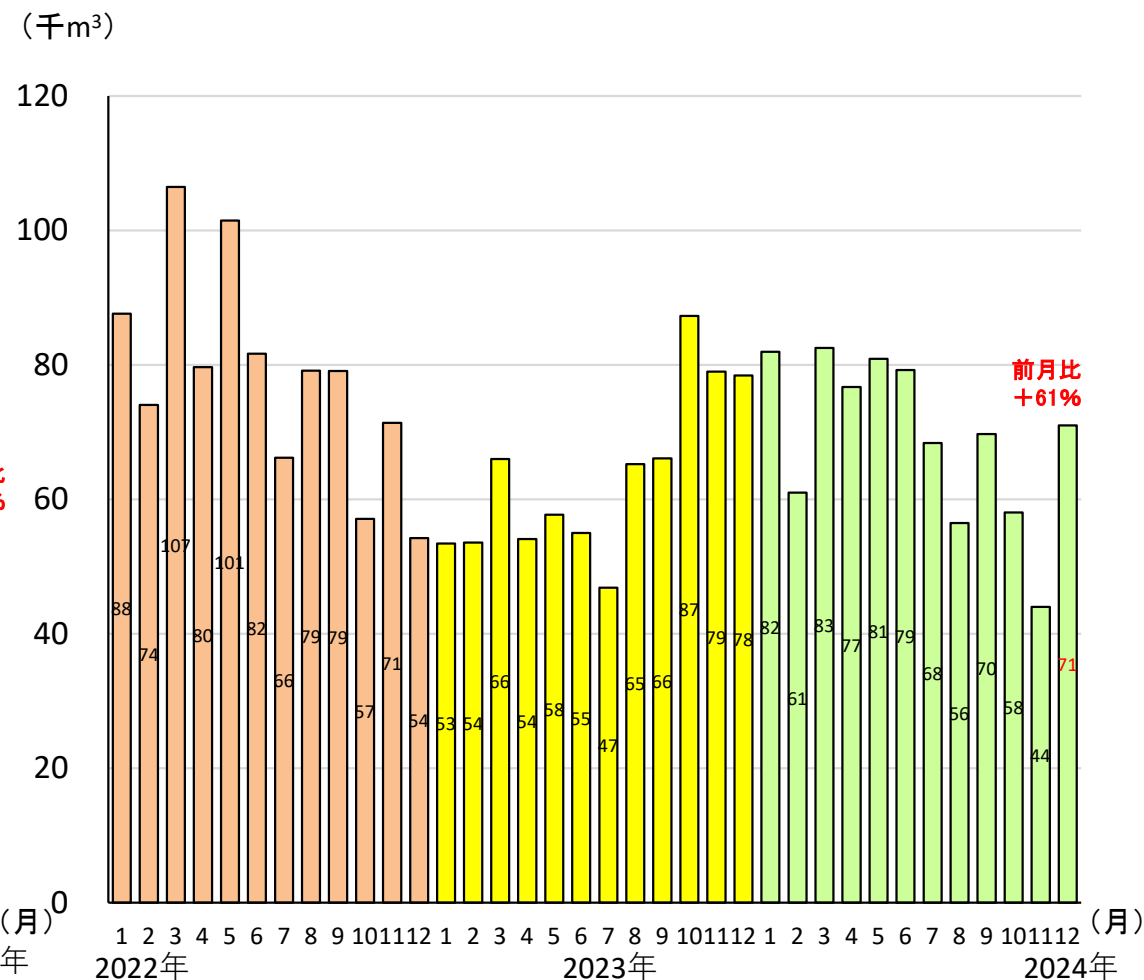
集成材の輸入量

3. 北米からの月別輸入量

- 2024年12月の米国からの丸太輸入量は、前月比▲14%減の9.3万m³(前年同月比+44%増)。
- 同月のカナダからの製材輸入量は、前月比+61%増の7.1万m³(前年同月比▲9%減)。



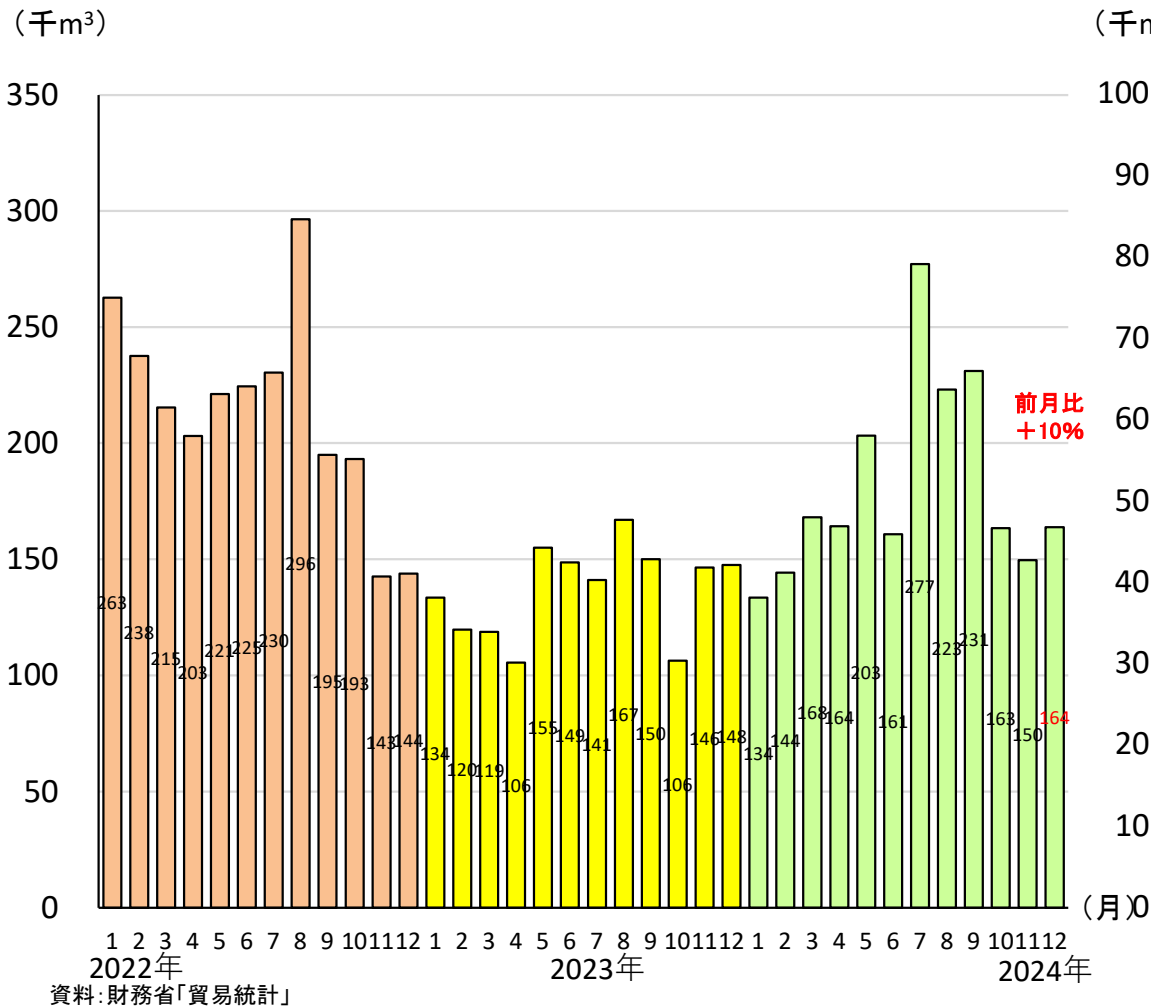
米国からの丸太輸入量



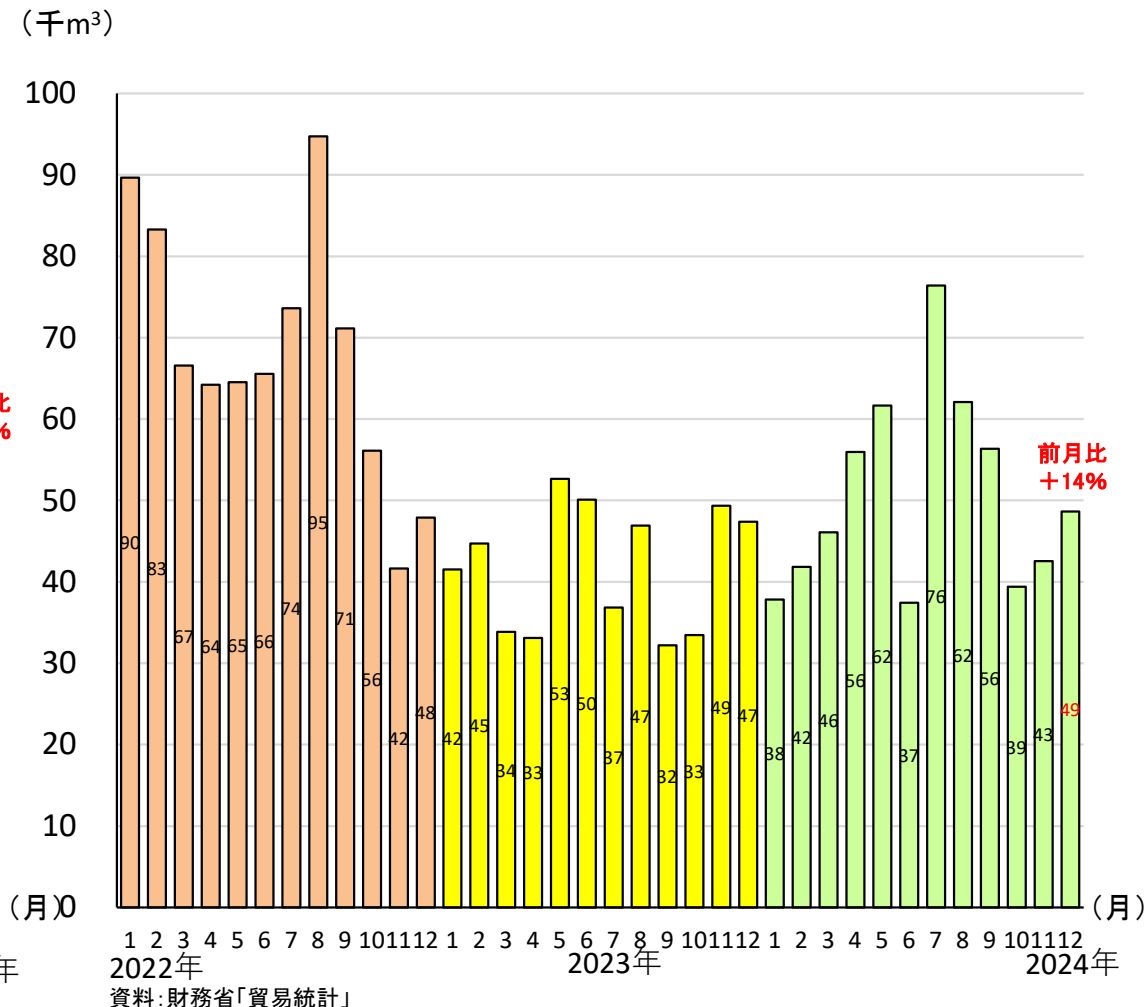
カナダからの製材輸入量

4. 欧州からの月別輸入量

- 2024年12月のEUからの製材輸入量は、前月比+10%増の16.4万m³(前年同月比+11%増)。
- 同月のEUからの集成材輸入量は、前月比+14%増の4.9万m³(前年同月比+3%増)。



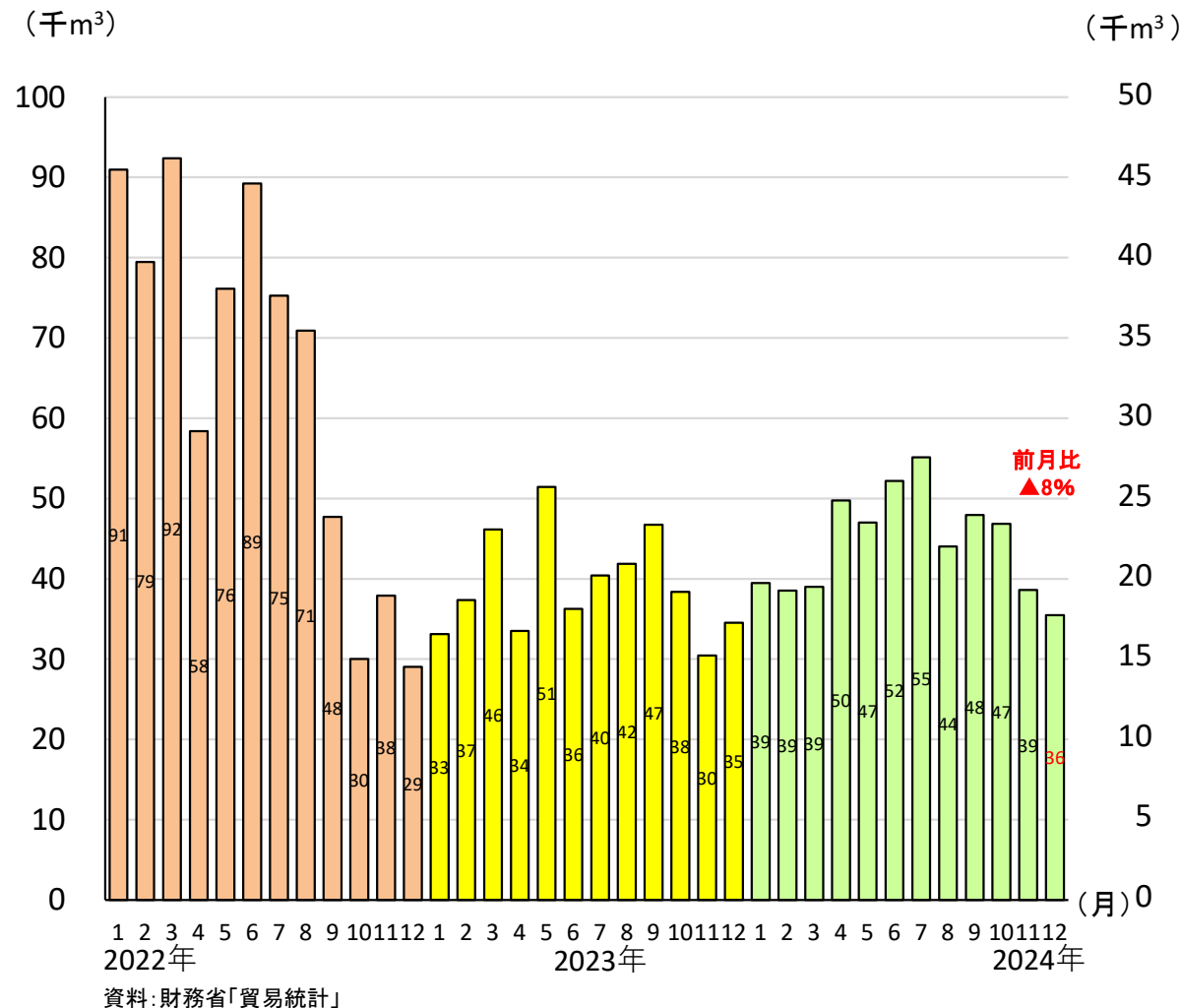
EUからの製材輸入量



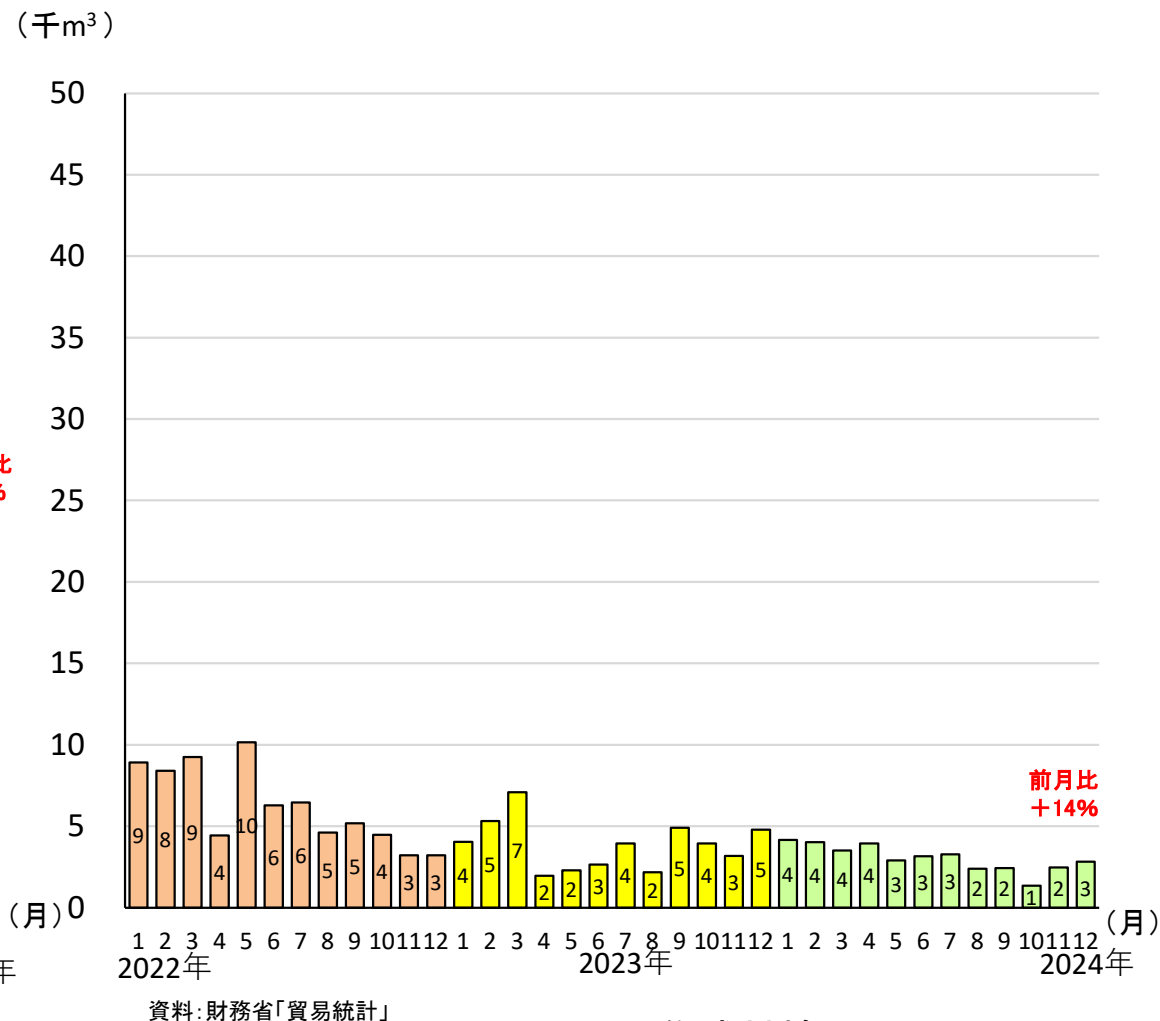
EUからの集成材輸入量

5. ロシアからの月別輸入量

- 2024年12月のロシアからの製材輸入量は、前月比▲8%減の3.6万m³(前年同月比+3%増)。
- 同月のロシアからの集成材輸入量は、前月比+14%増の2.8千m³(前年同月比▲41%減)。



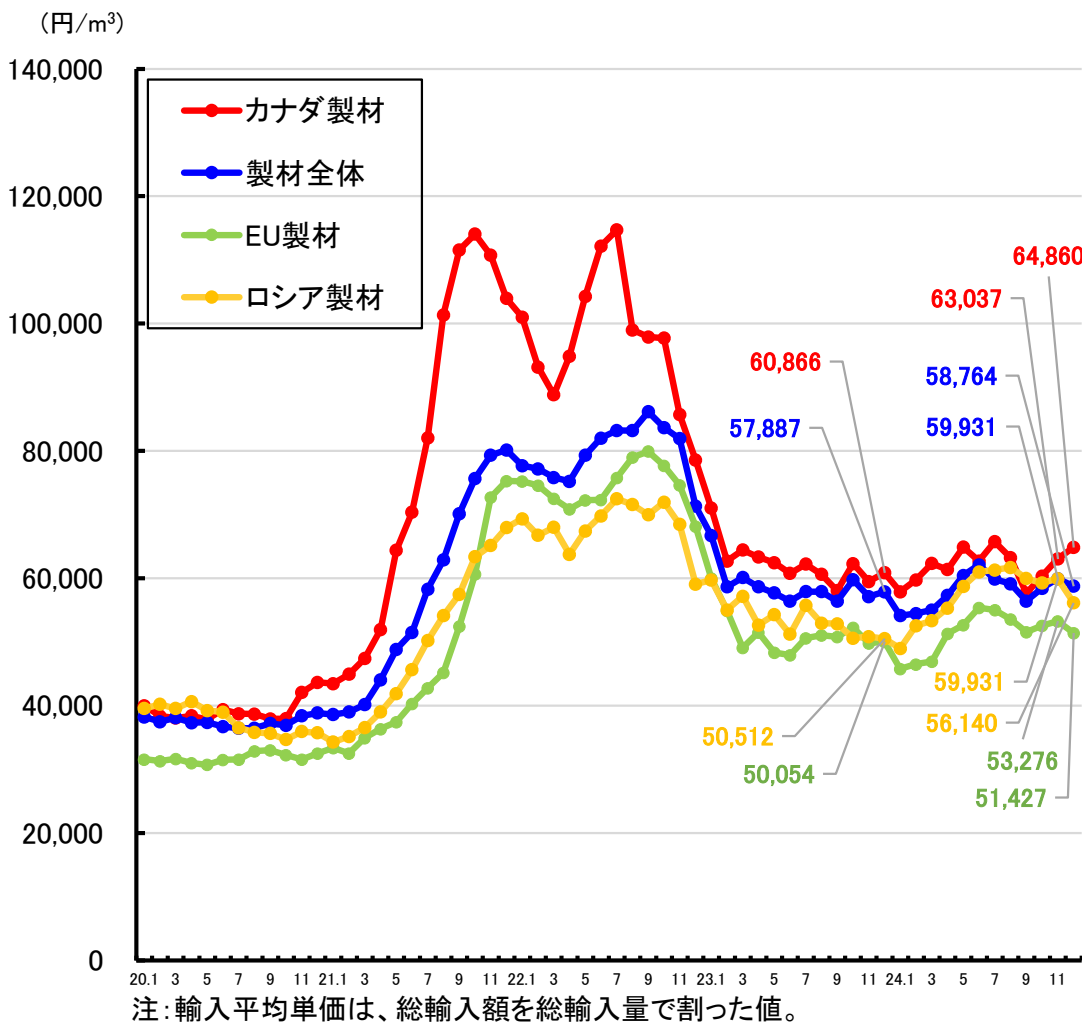
ロシアからの製材輸入量



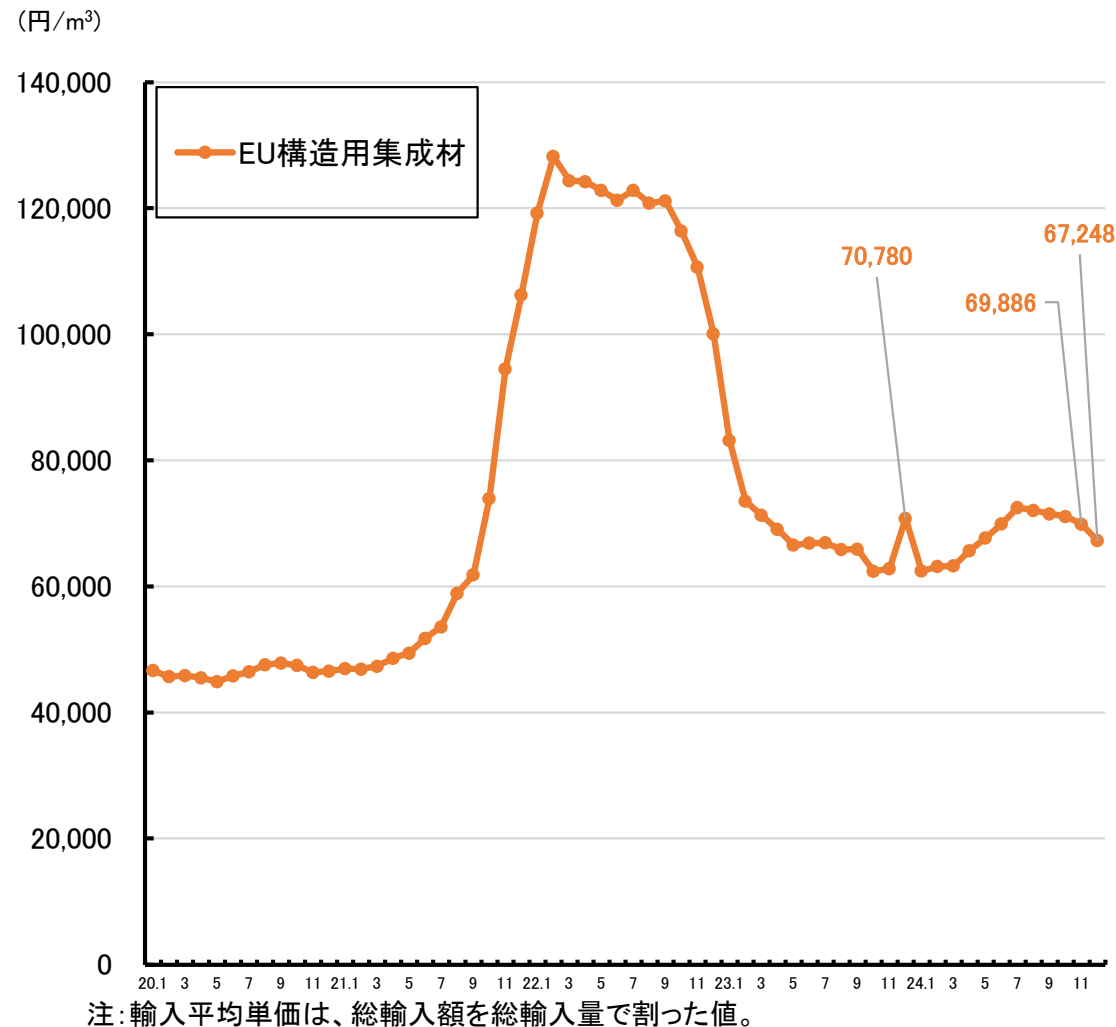
ロシアからの集成材輸入量

6. 製材・構造用集成材の輸入平均単価

- 2024年12月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比▲2%減の58,764円/m³（前年同月比+2%増）。国別に見ると、カナダの製材は、前月比+3%増の64,860円/m³（前年同月比+7%増）、EUの製材は、前月比▲3%減の51,427円/m³（前年同月比+3%増）、ロシアの製材は、前月比▲6%減の56,140円/m³（前年同月比+11%増）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比▲4%減の67,248円/m³（前年同月比▲5%減）。



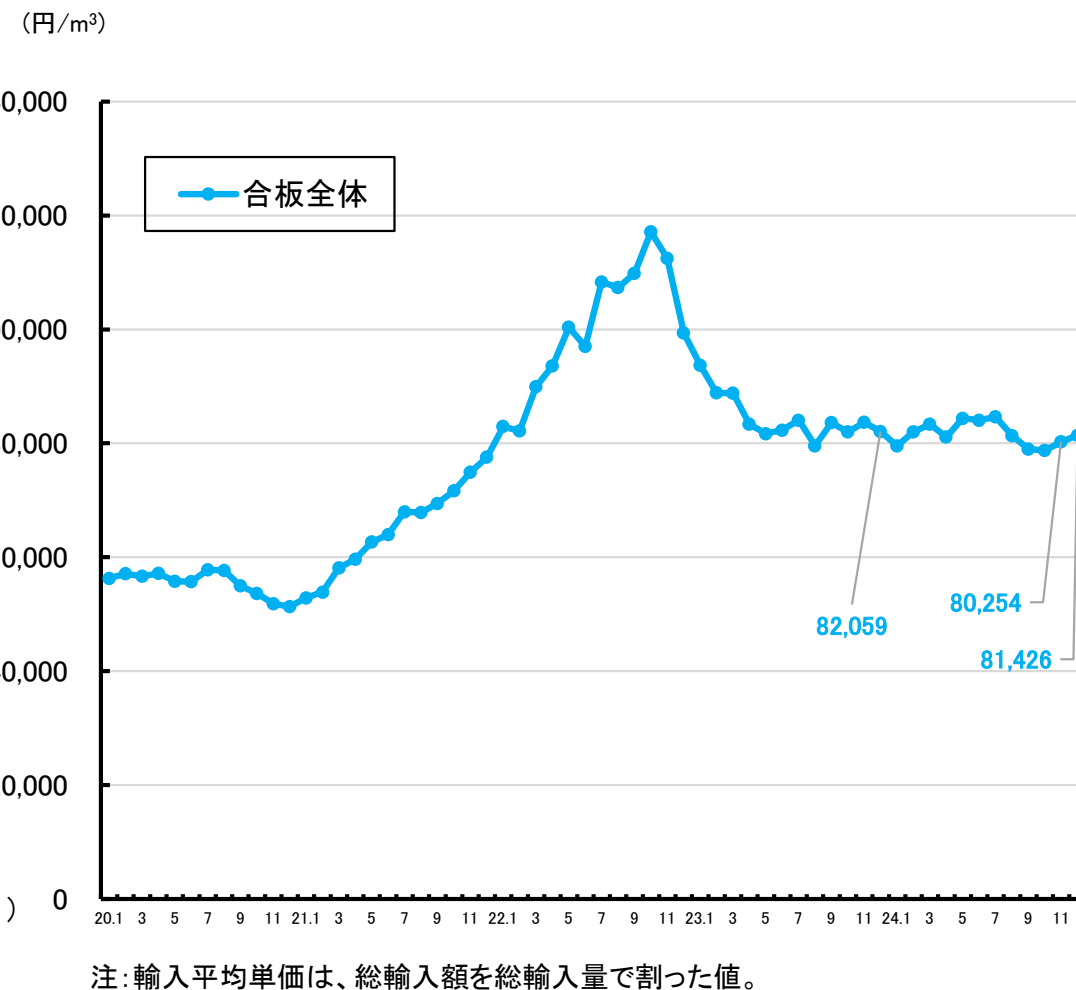
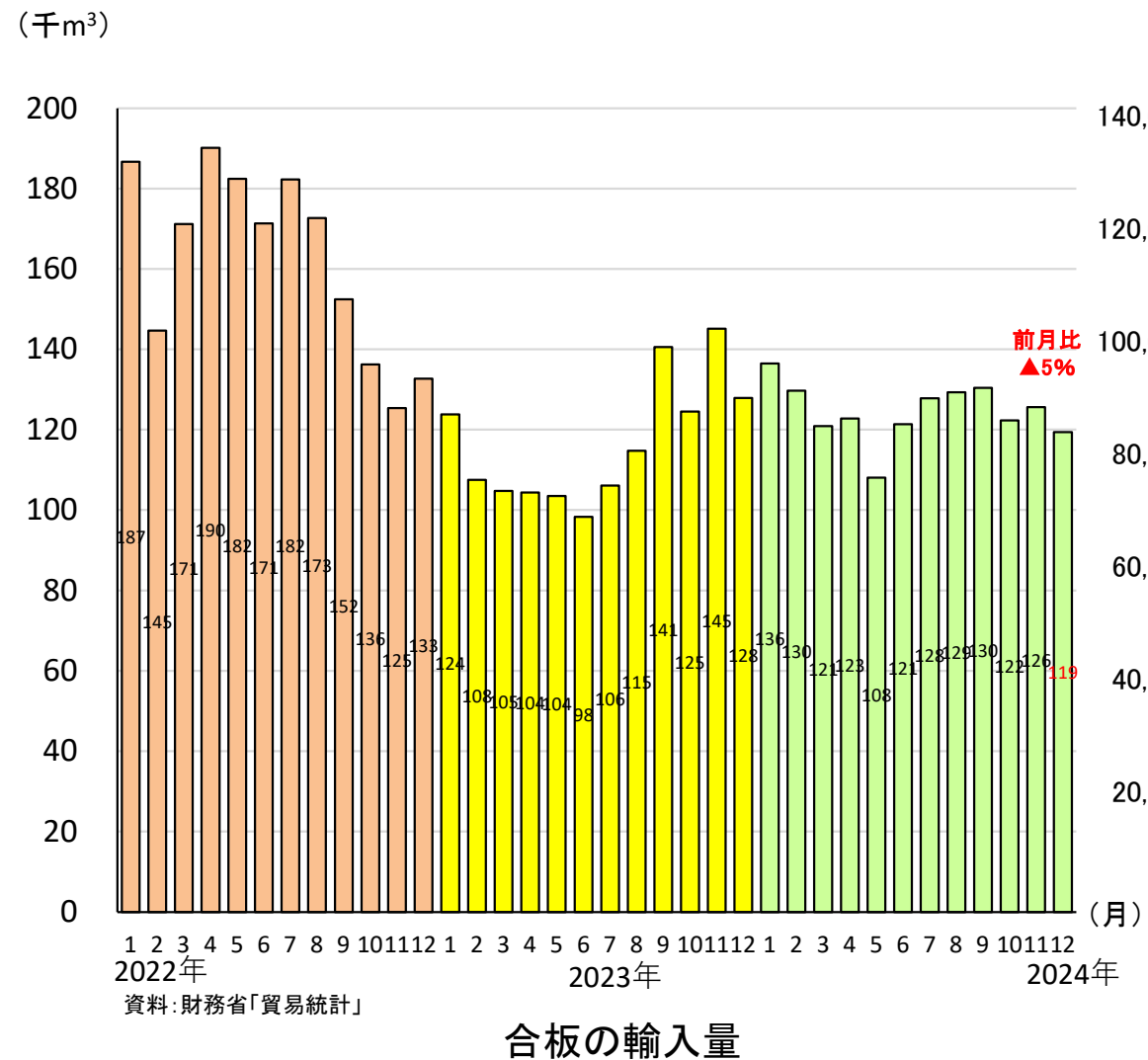
製材の輸入平均単価



構造用集成材の輸入平均単価

7. 合板の月別輸入量と価格

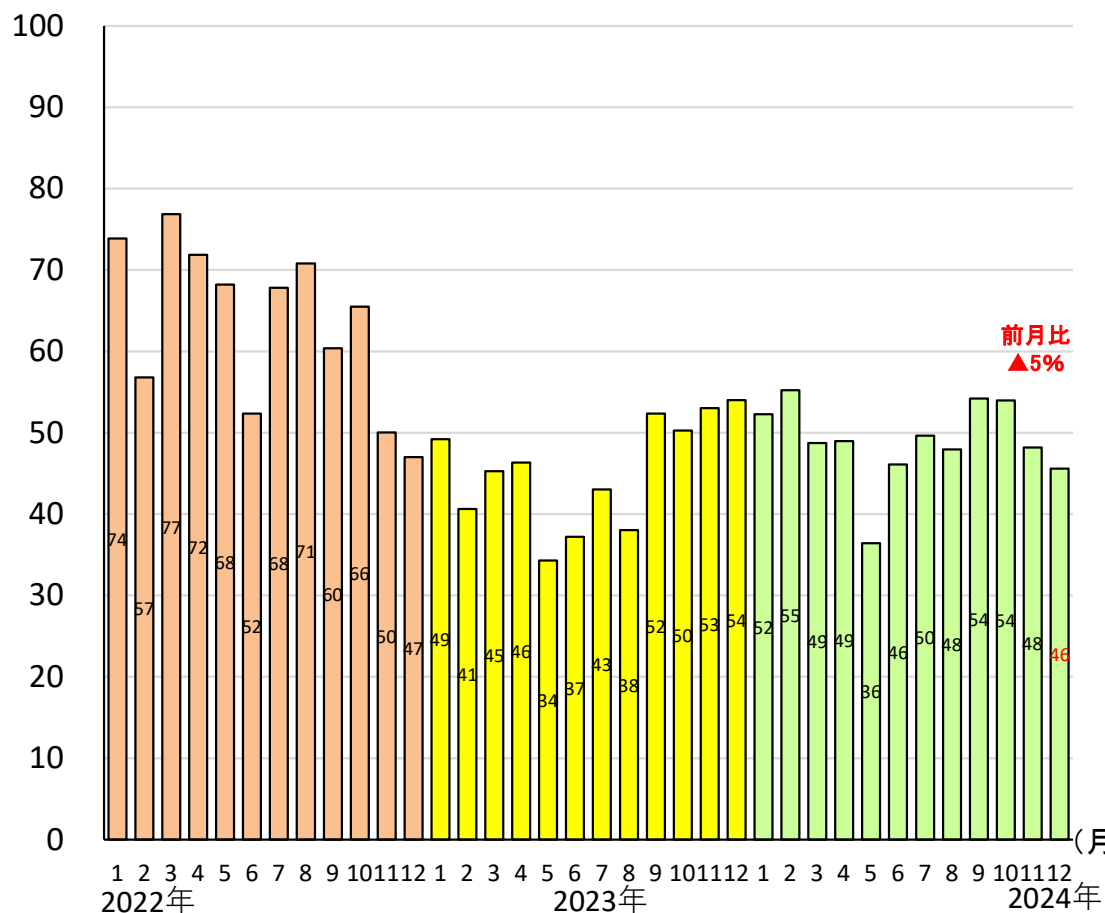
- 2024年12月の合板輸入量は、前月比▲5%減の11.9万m³(前年同月比▲7%減)。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比+1%増の81,426円/m³(前年同月比▲1%減)。



8. 東南アジアからの合板の月別輸入量

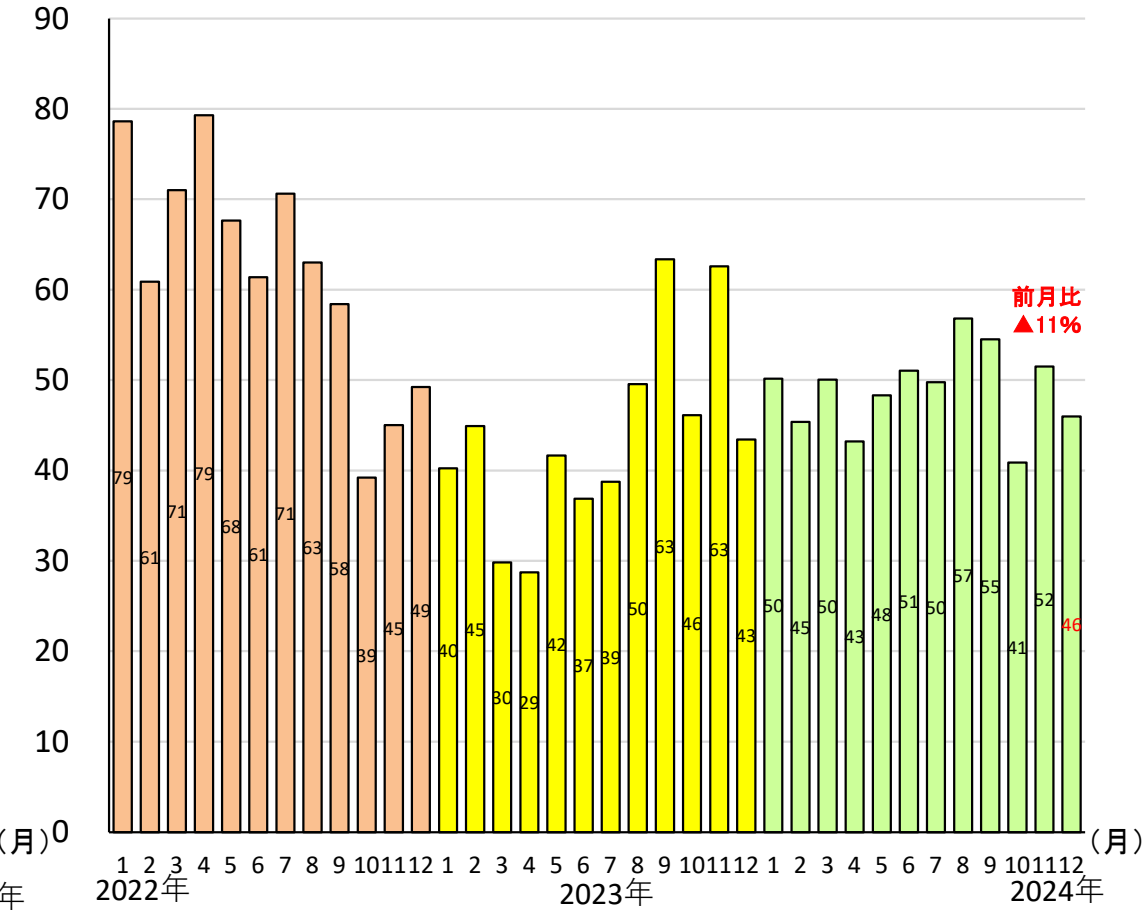
- 2024年12月のインドネシアからの合板輸入量は、前月比▲5%減の4.6万m³（前年同月比▲16%減）。
- 同月のマレーシアからの合板輸入量は、前月比▲11%減の4.6万m³（前年同月比+6%増）。

(千m³)



インドネシアからの合板の輸入量

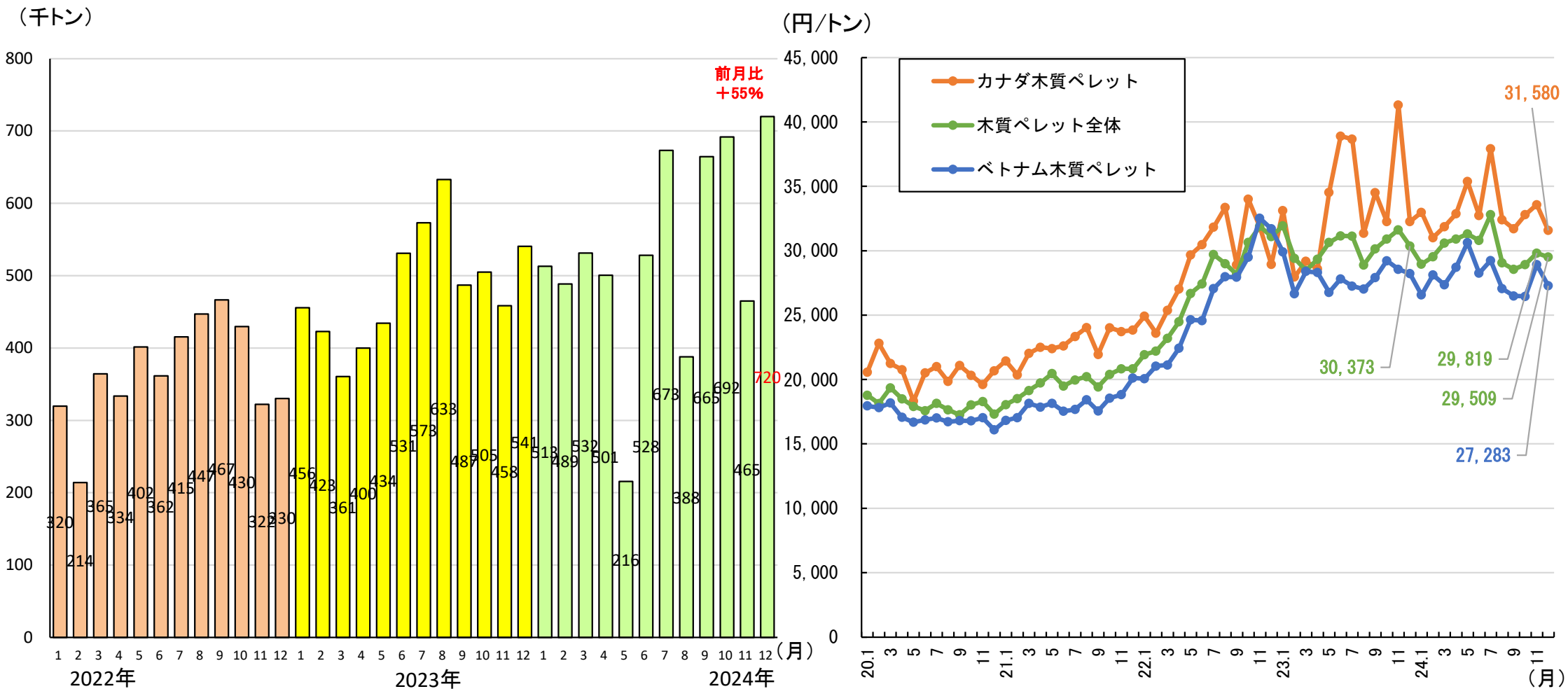
(千m³)



マレーシアからの合板の輸入量

9. 木質ペレットの月別輸入量と価格

- 2024年12月の木質ペレット輸入量は、前月比+55%増の72.0万トン(前年同月比+33%増)。
- 同月の木質ペレット輸入平均単価は、前月比▲1%減の29,509円/トン(前年同月比▲3%減)。

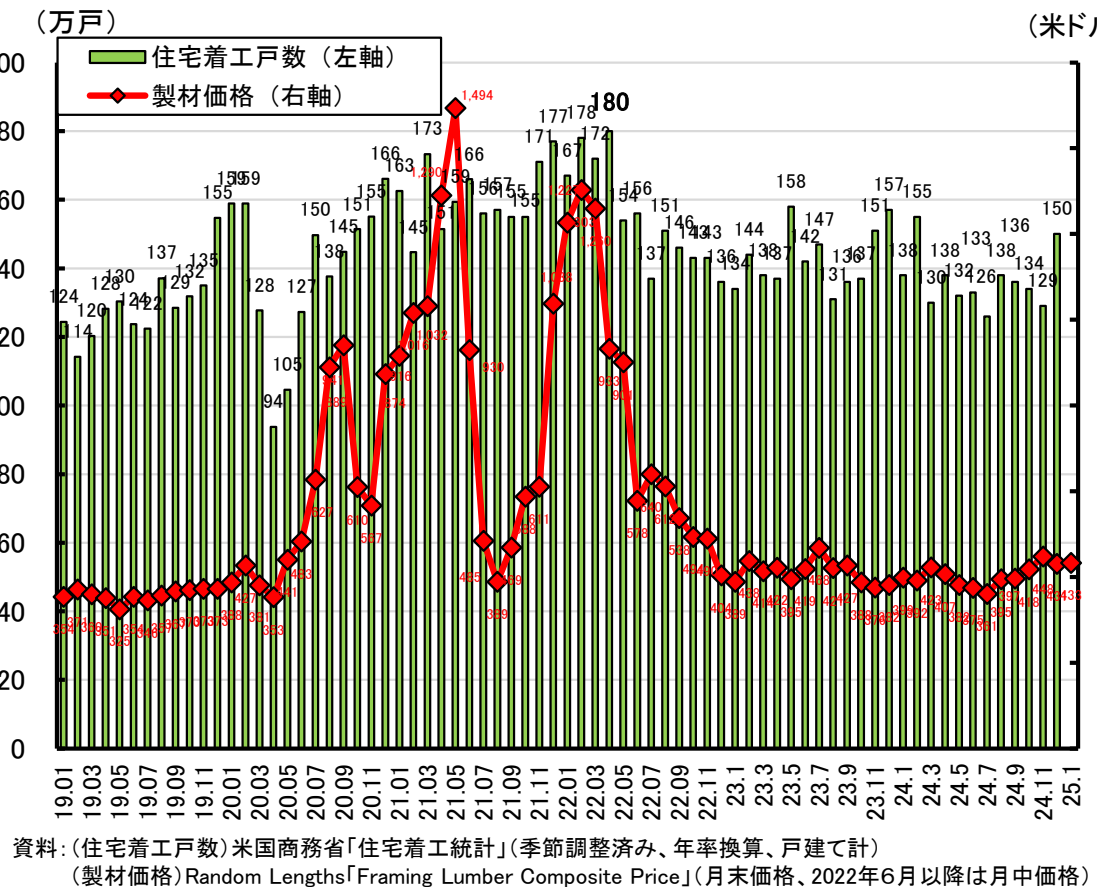


木質ペレットの輸入量

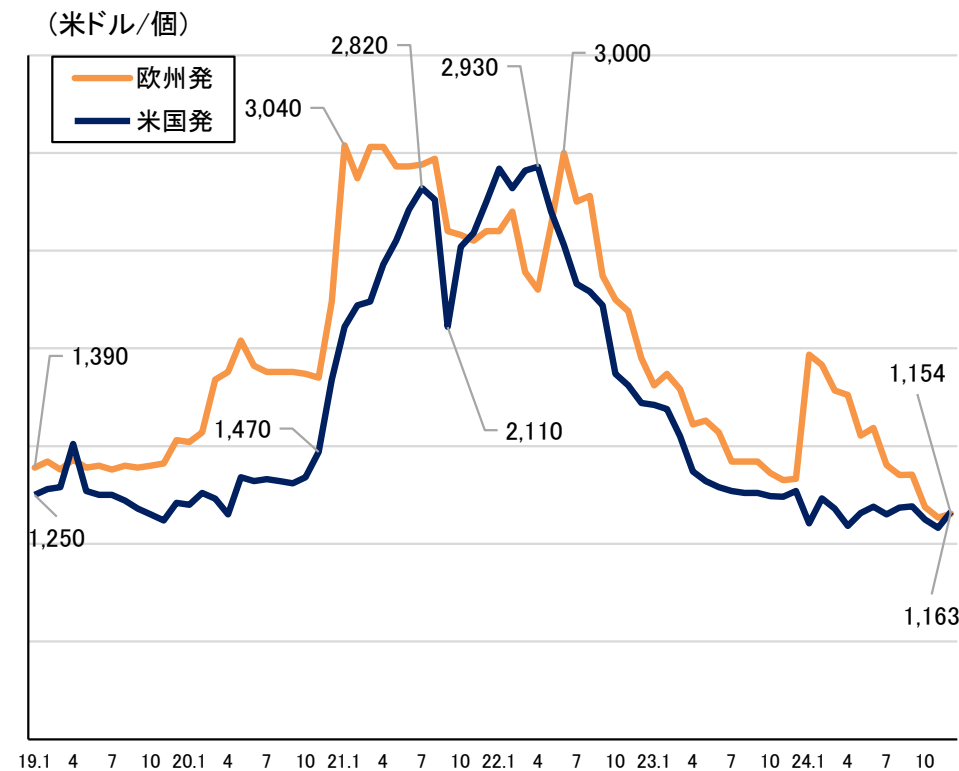
木質ペレットの輸入平均単価

(参考1) 米国における木材価格の動向等

- 米国の住宅着工戸数（戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後回復し、2022年5月からは概ね130～150万台で推移。2024年12月は前月比+16%増の約150万戸。
- 北米の木材価格は、2020年夏頃から大幅な変動を繰り返し、2021年5月には1,494ドル/mbf、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録した後、2023年以降は概ね400ドル/mbf前後で推移。2025年1月は433ドル/mbf（前月比+0%）。
- 日本向けコンテナ運賃は、欧州発、米国発ともに一時期高騰したものの、2023年末時点で概ね元の水準まで下落。しかしながら、2024年1月には、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発が一時期高騰。



米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



日本向けコンテナ運賃の推移

(参考2) 中国における木材需要の動向

- 2023年の中国における針葉樹丸太輸入量は、前年比▲10%減の2,810万m³。輸入量第1位はNZ、第2位はドイツ、第3位は日本。ロシアの丸太輸出禁止やドイツの虫害・風倒木の供給減等が影響し、2年連続で輸入量が減少した。
- 同針葉樹製材輸入量は、前年比+4%増の1,799万m³。輸入量第1位はロシア。
- 同経済は、年初にゼロコロナ政策が撤廃された後急速に回復したが、不動産市場の低迷等により年末にかけて再び停滞。

